

1. 件名：「浜岡原子力発電所3号機及び4号機の地震等に係る新基準適合性審査に関する事業者ヒアリング(110)、(143)」

2. 日時：令和3年11月10日（水）10時00分～12時10分

3. 場所：原子力規制庁9階耐震会議室

4. 出席者（※：TV会議システムによる出席）

原子力規制庁：内藤安全規制調整官、佐口主任安全審査官、海田主任安全審査官、谷主任安全審査官、西来主任技術研究調査官、大井安全審査専門職、松末技術参与

中部電力株式会社：原子力本部 原子力土建部 執行役員

中川原子力土建部長 他11名※

5. 自動文字起こし結果

別紙のとおり

※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

6. 提出資料

- ・ 浜岡原子力発電所 敷地の地質・地質構造（コメント回答）
- ・ 浜岡原子力発電所 敷地の地質・地質構造（コメント回答）補足説明資料
- ・ 浜岡原子力発電所 敷地の地質・地質構造（コメント回答）データ集
- ・ 浜岡原子力発電所 新規制基準適合性審査 指摘事項リスト

時間	自動文字起こし結果
0:00:04	原子力規制庁のニシキです。それでは、本日、中部電力とのヒアリングの方始めたいと思います。まず、説明のほうですが、明夫浜岡原子力発電所の敷地、地質地質構造に関するヒアリングになります。
0:00:20	それでは説明のほうをお願いいたします。
0:00:25	中部電力アmanoです。本日はヒアリングさせていただきましたありがとうございます。4月2日に実施いただきました第962回の審査会合におきましていただきましたコメントについて、回答を回答資料を作成して参りましたので、
0:00:42	今から御説明をさせていただきますと思います。
0:00:45	説明時間をおよそ50分ぐらいで考えてございます。よろしくをお願いいたします。
0:00:53	自分の力の源でございますけど、本日の資料ですけれども、HICへ218から220という番号右肩に打っております。3分冊になります。
0:01:06	コメント回答資料本店と補足説明資料データ集、この三つになります。
0:01:12	まず影響し218本編資料の1ページをお願いします。
0:01:18	こちらに前回4月の審査会合でいただいたコメント一覧載せております。今回、これはすべてに回答とさせていただきます。
0:01:25	2ページ3ページにコメント回答の概要とコメントの回答の該当箇所を記載しております表の一番右の列が該当箇所になりますが本編と、補足説明資料にて回答内容を反映しております。
0:01:39	また本件資料の該当箇所から御説明させていただきます。
0:01:43	5ページをお願いします。
0:01:45	本編資料の章構成載せておりますが、大枠の構成に前回から変更はございません。
0:01:50	4ぽつ、一番先の活動性評価においては、4ポツ1、4ポツ3においてH断層系の分布性状、それから深部構造に関する調査結果を示した上で、4ポツにおいて、
0:02:05	断層の活動時期がすべて同時に内であるという評価について説明しております。そのあと4ポツ6においてH断層系のうちH系断層の上載地層で最新活動時期の評価を行っている。
0:02:17	いうものです。
0:02:18	前回会合においては前半の調査結果の部分で、一応8月のデータを追加することですとか、複数コメントをいただいております。
0:02:27	それからもう一つコメントとして、4ポツ6の部分で、上載層の堆積年代評価についてもデータ拡充に関する御指摘いただいております。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:02:36	今回これらのコメントに基づく調査結果、それから検討結果を反映いたしまして、4 ぽつ 4 社全体記載の見直しを行っております、特に 4 ポツ 6 の部分に関しては校正の一部見直しも行っておりますので、
0:02:50	まずはこの 4 ぽつ 4 章全体をですねコメント対応させながら前回変更点を中心に御説明させていただきます。
0:02:58	ということでまず 4 ポツ 1 の 48 ページからお願いします。
0:03:05	H断層系の分布形態の調査結果を示したところです。次の 49 ページが概要になりますが、こちらではH断層系が地方期の分布形態の把握を行っているというものです。
0:03:16	その結果を水平断面鉛直断面で示しておりますが重要施設の位置関係もここで確認しているというものです。
0:03:25	50 ページに検討に基づいている各調査の範囲を示しております。
0:03:29	駅、
0:03:31	基本的に、
0:03:35	ボーリング、露頭調査によって一番先の部分が検討しております、重要施設の位置関係もこれらのデータから把握をしております。
0:03:43	説明者の海域ですとか、あと図面上の陸域の敷地外に関しては、重要施設がございませんので、こういったボーリング、露頭のデータも少ないですけども、回答に関しては以前から青色の改定地形調査ですとか、
0:04:00	右側の図面で示しております海上音波探査のデータを用いた検討結果を示しておりました。
0:04:06	前回会合でですねコメントNo.の 80 件になりますけれども、
0:04:11	陸域の敷地外のところにH8 それからH9 断層の部分に関しまして反射記録を用いて検討を行うことを指摘をいただいております。
0:04:21	今回左の図面の緑のエリアでハシ記録から、
0:04:26	H断層系の分布の検討を行っております緑の領域の東ハシ図面右端にですね反射測線がございますので、予想測線での反射記録
0:04:37	の会社が行っているというものです。
0:04:40	その解釈が 75 ページにございますのでそちらをお願いします。
0:04:46	した図が一番先の解釈になります。
0:04:49	箱書きの右下に記載しておりますが、検討の詳細っていうのは補足説明資料に書いてございますが、
0:04:57	地表付近で言いますと支援金は 120 それから 100 ごめんなさい、120 と 90° の辺りに不連続面がございます、これらをH8 断層位置 9 断層とそれぞれ解釈をしております。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:05:10	77 ページにですねこの解釈で結果を反映した平面図を載せております。
0:05:15	H8 それから位置付けがその選挙先ほど反射断面付近まで延ばして示しておりますが、上部付近もを延長したところもですね他の陸域の断層と調和的であることを確認していると。
0:05:27	いうものです。
0:05:29	以上がコメントNo.8 続きを反映した部分になります。
0:05:32	後ろまで伸ばしていきますが続いて 95 ページから
0:05:37	H断層系の性状を示しております。
0:05:40	96 ページの概要になりますけれども、露頭コア
0:05:44	いうスケールのその目視観察レベルのものから薄片顕微鏡で見ているようなスケールのもので、各断層の性状を示しております。
0:05:53	前回のコメントの 93 番になりますが、
0:05:57	従来性状について確認できてなかったの田地断層という地形といったの間の断層がありますけれども、それについてもきちんとデータをそろえて他の断層との類似性を示すことという御指摘をいただいております。
0:06:12	98 ページにですね各断層の調査位置を示しておりますが、今回 1 断層についての右上の断面で示しておりますようにボーリングで確認いたしまして、観察結果を示しております。
0:06:24	なので、先ほど御説明したいた断層の分布形態にはこのボーリングの調査結果も反映しております。
0:06:32	ページ 3 でいただきまして 115 ページが 18 断層のコアの観察結果です。
0:06:38	他のH断層系と同じような特徴を持つ断層として確認できております。
0:06:44	125 ページが聳当行はスケールの観察結果のまとめになりますけれども、一応 8 断層もほかの断層と同様に流動的な変形構造される物質が確認できていると。
0:06:55	今ですね。そうですねこの一覧表が探知の量を追加するとともにですね、確認項目として、
0:07:02	各断層の上盤と下盤の断層面間の距離という列を追加しております。
0:07:08	前回会合なと思うんですね。やっぱプレスがさんの方から御指摘いただきましたので、情報として、この列を追加したというものです。
0:07:19	次へ行って 157 ページまで飛んでいただきますが、今度HIC皆様ブロック試料とCT画像をこちらに載せております。
0:07:29	それからその次 158 ページ 159 ページで薄片の観察記録
0:07:35	もう載せています。
0:07:36	いずれもチャージ岡ほかの断層、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:07:39	いずれのデータもですね他の断層と同じような特徴を持っているということを確認しております。
0:07:46	186 ページに各断層の性状観察の結果を露頭から薄片までまとめておりますが、右側のマトリックスにチャープなその調査結果を追加して、ほかの断層と同じ特徴もつということ、これも表しております。
0:08:00	茶津に関してはこれらの試料分析においてXRDの結果も示しております、他の断層と同じような鉱物組成であることの確認しております。
0:08:10	これは一番その調査結果については一連の調査結果を待ってまとめてですねマトリックスが大分後になりますけれども、259 ページに一覧表としてございます。
0:08:21	こちらにも反映しております。
0:08:24	後段の活動性の活動の同時性を評価するにあたって、検討対象としていた値を含めた記載に見直しを行っております。
0:08:34	以上が板厚に関するコメントの反映箇所になります。
0:08:38	それからですね正常の部分にまた戻りますけど正常に関しては、観察内容の記載をより丁寧に行うようコメントをちょうだいしておりました。
0:08:49	コメントNo.で言うと 90 番になります。
0:08:52	具体的に御出席いただいたところですが、まずCT画像について御指摘いただいております、例えばですが、
0:08:59	131 ページ。
0:09:01	これはいちいち断層のCT画像になります。
0:09:04	大半の断層ですねこの断層のように断層面に対応する構造が黒っぽく低密度化して写っているのに対しまして、
0:09:12	143 ページ。
0:09:15	ありますが、
0:09:17	これイチゴ断層です。
0:09:19	資料によってですねこの断層に白っぽく高密度化して断層面を吊っているというものもございます。
0:09:25	従来この現象ですね、周辺場で密度が異なるということでひとくくりにしておりましたが、今回低密度高密度きちんと書き分けた上でその要因についても考察を行っております。
0:09:37	その考察が 181 ページにございます。
0:09:41	このページの左の表で整理しておりますが、基本的には段差部低密度ですが、赤字で書いてるようなところというのは高密度で映っているというものです。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:09:51	そう要員ですけども、表の右端。
0:09:54	CT撮影時の資料の状況にありまして、密度で写っている資料というのは採取したものをそのまま撮影していると。
0:10:01	今ですね、で一方で高密度で写ってる資料すべてですね、乾燥させて実施が新処理を行ったものを撮影しております。
0:10:09	本当にその書類による変化なのかというのを今回新たに掘削したH8 断層対象に検証したのは、右側の写真になりますが、
0:10:17	岩相等受診勧奨によりまして断層面を高密度化する様子を確認しておりますということで断層ごとの密度の違い、乾燥による体積変化にあったと考えております高密度で写っている資料も初生的にはですね母岩よりも早い時期変化起こしやすいような
0:10:33	三つの低い状態だったと考えております。
0:10:37	184 ページのまとめの一覧表にもですね右から 2 列目にこの内容を反映して記載しております。
0:10:46	なおですねこの一覧表で毎断層②の欄に前回会合では支持数の確認結果が入っていましたが、こちらは誤記でございまして、この資料では、CT観察を行っておらず、資料も異存
0:11:02	しておりませんので、今回予行某地主に至るためさせていただいております。
0:11:10	またコメント回答のほうに戻りますが、
0:11:13	薄片試料に関してもですね、記載の充実に関するコメントいただいております。
0:11:19	具体的にはですね 146 ページになります。これイチゴ断層になりますが、
0:11:27	薄片観察をどう岩相でもですね再ベース当番の境界が不明瞭だったですとか、そんな構造を認められない、こういった内容を説明してはしましたが、
0:11:37	箱ガイの下線部が修正箇所になりますけれども、
0:11:41	オープンな家族クロスの数はこちらを見て観察した内容なのかっていうのを丁寧に角度ともにですね。
0:11:48	下から二つ目のポツになりますが、クロス直交ニコルで見えている。
0:11:55	ちょっと黄色っぽい淡い黄色の領域が何なのかっていうところを追記しております。
0:12:01	このIT一部分というのは裁量物質を中心に網目状に分布する粘土鉱物に対応しております、
0:12:08	これはこの資料に書いて話はなくてすべての断層資料で確認はできております。そのあたり詳細はですね 183 ページに記載しております。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:12:19	約 83 ページになりますが、網目状に粘土鉱物いずれの断層でも認められるものでして、その粘土鉱物自体は僕にはにも粒子間を埋める形で分布しております。
0:12:30	網目状と言っているものを主にですねせん断方向に沿って豪州産する形でバックしておりますそれが結果的に網目状に見えていると。
0:12:39	いうものです。
0:12:40	特色のタイミングがそろいやすいので、そこにこれでは先ほどの中古断層のように、防犯灯の色調の違いとして表れることがあります。
0:12:50	このスライドH2と1例だけを示しておりますが、その他の断層でも確認できますので、そちらの確認をしている写真はデータ集に載せてございます。
0:13:02	そうですね単ニコルではアン水に対する構造というのは認められておりませんし、こういった粘土鉱物を切るようなせん断面もないことを確認しております。
0:13:12	また採泥物質のXRDの結果からですね、粘土鉱物に主に言うのは主にスメクタイトであると考えておまして、
0:13:20	またその結果から、相良層に比べ粘土鉱物が顕著に増加しているということも確認。
0:13:26	増加していることを認められないことを確認しています。
0:13:32	もう一つ運んサージに関しては別の観点で御指摘がございました。
0:13:37	生駒の 182 ページになりますが、
0:13:41	先ほどご説明した 15-3 の薄片写真。
0:13:44	左の表の一番左の列と一律飛ばして、左から 3 列目。
0:13:52	資料につけている写真になりますが、これらの断層だけですね、この断層と見え方組織長が違うというご指摘もいただいております。
0:14:02	例えば右にうちの断層を示しておりますけれども、
0:14:07	一応だけオープンクラスト見え方が違うというものです。
0:14:10	その要因ですけれども、スキャナが撮影時期の関係で異なるのが厘でございまして、
0:14:17	上段その他の断層と同じようなスキャナーで撮影すると同じような色調で写ることを確認しております。
0:14:24	この写真あくまで審査資料に薄片写真の全体像を示しているものでして、監査自体は写真でなくて実際に顕微鏡をのぞいて行っておりますのでは観察基準ですとか評価のように影響するものではございません。
0:14:37	以上が履くに関する記載充実内容でございます。
0:14:43	今回合わせてですね 187 ページと 188 ページに、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:14:47	三坑という形でエアコン観察にあたってどういった基準で断層面の境界部分を評価しているかなどですねこういったことを物差しにしていますという情報も参考として追加させて、
0:15:00	わかりました。
0:15:04	続いて試料分析の結果に関しても丁寧な記載となるような修正を行っております該当するページは 191 ページからのEPMAの結果になりますけれども、
0:15:15	こちらについても最終的な評価内容が変わるわけではありませんが、丁寧な記載になるように下線部の見直しを行っております。
0:15:24	以上がコメントNo.90 を踏まえた修正箇所になります。
0:15:30	一応先ほど性状に関してはですねあとひとつコメントをいただいております、
0:15:36	コメントNo.91 になりますけれども、
0:15:39	地球監査の分析結果、これは上載層を確認している地点のデータを使いなさいという御指摘をいただいております。
0:15:47	概要ですとまとめたものが 209 ページになりますが、
0:15:52	ここで示している表がですね 1K断層の観察分析を行った地点を調査項目ごとにまとめたものでございます。
0:16:01	づらいTT地点という上載層の年代が 5c のつてね確認。
0:16:08	1 点だけですね、実施していた分析については、
0:16:11	赤字で
0:16:14	追加載せ赤字で示しております。それからの試験を行いました。
0:16:18	5e と評価している上載層を確認しているBF4 地点の北トレンチ、ここで追加の分析を行っております。
0:16:26	結構ですね各分析項目のスライドに追加しておりますけれども、というのは大きい地点で確認していただいようと概ね同じ結果が得られているというものでございます。
0:16:39	以上が一番先の性状に関連するコメント回答の反映箇所になります。
0:16:44	また資料のほうを流していきますが、212 ページから
0:16:49	こちら深部構造の調査結果になります。
0:16:52	こちらはあまり変わっておりませんが、220 ページg になります、冒頭御説明した茶津断層と市来断層の解釈を反射記録の方にも、
0:17:05	追加したというものがございます。
0:17:08	シール部構造に関する変更点はこれぐらいになります。
0:17:13	次に 158 ページにからですね一連の分布形態性状それから深部構造に関する調査結果をまとめておまして、次の 259 ページに先ほどご説明したマトリクスを載せております。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:17:31	一応 8 を追加したということと、
0:17:33	断層面間のピッチ全校交代と呼んでいたところの幅を選んとして追加しております。
0:17:43	次に 161 ページになりますが、
0:17:47	6 約 61 ページからは、ここまでの調査結果を踏まえて、従来はですね 1 断層系の分布範囲として、こっから先には一番葬儀が分布しないよという説明をしておりました。
0:17:59	今度に関して前回会合でもですねコメントいただいております、No.95 になりますけれども、
0:18:06	この分布範囲を示しているのか、分布しない範囲としては例えば後方回転がない範囲を示しているのかと。
0:18:13	ということが少しわかりにくくて誤解を招くような表現になってましたので、
0:18:18	説明内容に誤解がないよう実用的低下するよう御指摘いただいております。
0:18:24	この最後タイトル部分に変更箇所として下線引っ張っておりますけれどもここでは一番先が分布しないエリアを清水ことで、
0:18:32	分布しないと言えない範囲には大目に見積もって一段装置はおさまってるでしょうという収まっていると考えてますという説明をしておりますので、
0:18:42	そのあたりを明確になるようにタイトルを修正しております。
0:18:46	この後の 264 ページまで同様なスライドは続きますけれどもそこでも同じ修正をしております。
0:18:54	またそれ以降でもですね例えば 273 ページになりますが、
0:19:00	右下に二つの図面がございます。も同じように範囲を示してるんですけども、この範囲が何を表してるのかというのが誤解ないように修正を行っております。
0:19:13	以上がコメントNo.95 を受けた修正になります。
0:19:18	と少し先のほう、ページまで説明してもしますと、けれどもまたあの資料地盤に説明していきますと、
0:19:25	分布範囲のスライドの後に 267 ページからになりますが、
0:19:32	分布形態正常に基づく評価ということで、
0:19:36	次の 268 ページに概要を示しておりますが、
0:19:40	すべての断層が同じ時代に活動して、活動性がどの断層でも代表できるということを説明しております。
0:19:48	この評価はですね 268 ページの左に緑の太字で書いておりますけれども、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:19:55	分布形態に基づく教師的な検討等を正常に基づく微視的な検討交通ステップで行っております。前回会合ではですね主にごめんなさい、上のですね、巨視的な検討に関して、
0:20:10	一つコメントをいただいております。
0:20:14	No.96 億のものになりますけれども、都民のフォールつうに関するコメント等です。
0:20:24	まず
0:20:25	若干の説明内容ですが、274 ページ。
0:20:30	我々1 断層系はその形態の類似性ですとか、後方回転を伴うと置いた特徴から、断層ブロックの回転運動に伴ってすべての断層が一体となって活動したと。
0:20:42	評価しております。
0:20:43	その上でですね、次の 277 ページ。
0:20:46	同時に活動するとされているとみんな法律との形態的特徴が位置していることもそういった活動の根拠の一つと。
0:20:55	ておりました。
0:20:56	前回会合ではですね今度Bのフルーツに関して浜岡と同様な堆積場における事例はあるのであれば白いも追加して既往知見からも裏付けられた説明を行うことという御指摘いただいております。
0:21:10	事例の確認結果は次の 278 ページになりますが、
0:21:15	MI通る 2015 で示される。
0:21:19	回分の正断層群、これは浜岡と同じような前弧海盆堆積物中の断層になります、
0:21:26	文献で現況ありませんけれども、形態的特徴のみの法律と一致しておりますので、これを事例として整理しております。
0:21:34	180 ページが消火ツーツーになりますけれども、
0:21:38	一番避けます形態的特徴から一体として活動したと言ってみんな法律の特徴にもすべて当てはまると、
0:21:46	さらに事例として、浜岡と同じ南海トラフの堆積場でも都民の法律の事例があるので確認内容を反映しております。
0:21:55	以上がコメントNo.96 の反映箇所になります。
0:22:00	私は流していきますが、この後の 200 円 85 ページからは、
0:22:05	えびす的な検討のほうに移りまして、もうに性状の調査結果をもとに、一段組織が同時代にできて、再活動しないんだということを説明しております。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:22:15	この部分先ほどご説明したように今回製造に関する調査結果を 18 に関しても追加しておりますので、それを含めた評価に見直しております。
0:22:27	304 ページのまとめまでと言いますけれども、下側の微視的な検討においても、敷地内断層や意識のなさと同じようにH8 断層も限られた時代に形成されて再活動しないということが今回、
0:22:42	性状観察結果から確認できたというものでございます。
0:22:49	この後 306 ページからは 1 断層系の形成要因の考察を行っております。こちらは前回会合から変更はなくて、4 は地すべりが考えられるという結論でございます。
0:23:03	続いて、
0:23:05	303 ページまで飛んでいただきまして、
0:23:10	最後の章になります。19 断層の最新活動時期があります。先ほど、
0:23:16	活動が同時代のものということで、活動性評価追いつく断層で代表させるといところをこの前段で説明しておりますが、
0:23:28	この 4.6 の章で活動性そのH断層の活動性評価を行っているという位置付けです。
0:23:36	本前回会合で一番のポイントだったかと思えますけれども、一応断層の上載地層に関してデータ拡充のコメントをいただいております。
0:23:46	コメントナンバーで 97 番になります。
0:23:51	334 ページにコメントを踏まえた検討内容について、
0:23:55	前回会合で示したロジックに対して補強点がどこかという観点でまとめております。
0:24:01	まず図の左側、従来の流れとしてですけれども、
0:24:06	BF4 地点での調査結果を箱で書いております。
0:24:11	違う断層はD層基底に変位変形を与えていないということと、そう詳細に見ているとテフラなどの直接の堆積年代を特定できる指標というのは確認できませんけれども、
0:24:23	高高 10m付近にあって、に海から入ってきたと考えられる。
0:24:28	平成が火成岩が含まれるということを確認しておりますので、
0:24:32	実は改正である可能性が高いとしておりました。
0:24:36	そうした中はオオノになります。du層堆積年代評価にあたっては、
0:24:42	BF4 地点のごく近傍にBF1 地点と、
0:24:46	いうプレアデスが確認される地点がありますので、このBF1 地点を中心としたBF4 地点ごく近傍の地形、地質、それからBF1 地点の古屋で外のそうそう試料分析結果、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:25:01	その対比から総合的にBF4 地点のでそうは売上総MIS5eの堆積物に対比されると。
0:25:09	ておりました。
0:25:10	今回
0:25:12	ウェイ側の緑の吹き出しになりますが、追加調査を行いまして、
0:25:17	BF4 地点の同層から三中ですとか、特徴的な鉱物としてざくろ石が検出されました。
0:25:25	それに加えて、早々にも着目してBF4 地点の堆積環境について従来のものから深掘りしております。
0:25:34	その下の緑箱のところになりますが、まず①として、に対し関係の深堀結果をもってですね、僕近傍の地形地質に基づいてでその体積年代はMIS52 とする評価を補強しております。
0:25:49	さらに②の部分ですが、
0:25:52	BF4 地点での追加分析項目、これも含めまして引つ店BF1 地点との触れ合いベースを
0:26:00	今の対比を行っております。
0:26:05	それは分析結果の対比からも堆積年代をMIS5eとする評価補強できた。
0:26:10	いうものです。
0:26:12	最終的な結論として、マルチのごく近傍の月内数に基づく評価と②のPRAベースの対応に基づく評価をそれぞれの観点から総合的によその体積で評価しているというでは従来から変わっておりませんけれども、
0:26:27	資料の構成については、ロビーが明確となるような見直しを行っております。
0:26:33	次の 335 ページに資料構成を書いておりますが、
0:26:38	下の箱にありますように三つの節に分けております。
0:26:43	まず地球NASAがちゃんと上載層に抑えられているかどうかを確認しているというもの。次に、
0:26:50	データを調査、詳細調査結果として、
0:26:53	今回データ拡充を行った内容をここで説明しております。
0:26:57	最後にですねその堆積年代評価として僕近傍の地形地質に基づく評価と売上相当そうそう。
0:27:05	試料分析結果の対比を行っております。
0:27:11	336 ページから具体的な中身のほうに入っていきます。
0:27:16	まずは 19 断層がちゃんと上載層に抑えられるかどうかという確認ですが従来から、ここは変更がございません。
0:27:24	337 ページBF4 地点というところで 1 プラント二股に分かれておりますが、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:27:33	次の 338 ページこれあの南側のH9 断層です。
0:27:37	ちょっと当面いただいて 344 ページ、ナカガワー19 断層の確認結果になりますが、いずれもdu層基底に変位変形を与えていないことを確認しております。
0:27:50	続いて 348 ページになりますが、
0:27:55	ってということまでその辺で押さえれば、活動性が評価できるということでBF4 地点の泥層の堆積年代を特定するために、露頭観察と白分析を行いましたという内容をここで示しております。
0:28:09	右下に黄色い箱で書いておりますが、BF4 地点のそう露頭のトレンチ、これらの埋戻した状態でしたが、前回コメントいただきましたので、再度掘削を行いま
0:28:21	て葬祭確認と分析を試料の採取を行っております。
0:28:28	349 ページから露頭観察結果を示しております。
0:28:34	352 ページまでちょっと飛んでいただきまして、公開ですね右上の平面図で赤く囲っている北トレンチからその南側連絡トレンチにかけて最古策を行いました。
0:28:49	このスケッチも新たに作成したものですけれども、D層の分布標高というのは 50m程度のところに標高 50m程度のところにありまして、
0:28:59	総和積 1m程度です。
0:29:01	できてる液位も広く一様に分布するというものです。
0:29:06	次の 353 ページに連続写真で同じものを示しております。
0:29:12	もう少し細かく見たものが 355 ページにあります。
0:29:19	詳細なスケッチになりますが、
0:29:22	探そうとの整合付近に円から扁平の利益を含んでおります。
0:29:27	情報に向けて細粒化が見られて料理の堆積構造はなくて、海上も総理でございます。
0:29:35	また今回改めて確認しましたが、
0:29:37	そちらには目視レベルでは、火山灰層及び貝などの化石っていうのは認められませんでした。これ前回から変わらない結果でございます。
0:29:49	次 356 ページ、これ以前から示しているスライドですけれども、規定歴を種類別に分けてやると大半堆積岩ですけれども、まれにですね、変成岩や火成岩が見られて、
0:30:01	おります。
0:30:03	次 357 ページで気の形状を見てやると球形度が 0.7 ぐらいの値を示す。
0:30:10	いうものです。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:30:13	次 358 ページは、またちょっと利益の種類の方に話戻りますが以前コメント回答として実施した内容ですが、
0:30:22	変成岩、火成岩がどれぐらいの頻度で終わるのかというのを定量的に確認しております。
0:30:27	400 ほど利益確認いたしまして大体 1%ぐらい変成岩、火成岩がまじっている
0:30:33	と。
0:30:33	というものです。
0:30:36	次に 359 ページはこの変成岩、火成岩の金利について考察したスライドになります。
0:30:41	づくあの杉山ほか 18、これは増幅ですけれども、づくでは御前崎地域の改正段丘堆積物に入っている変成岩、火成岩これ原料発生系からきたとされております。
0:30:55	御前崎 4 万 10 対応の流れを下流に位置しております、づくで書かれている先生が火成岩っていうのは停留側火口から海嶺で運ばれてきたものだ
0:31:06	と考えられます。
0:31:07	同様にですねBF4 地点の変成岩、火成岩も定量側から火口からですね、海海流で運ばれてきたと考えております。
0:31:19	次の 360 ページに弊社において確認した内容として覚書地域の段丘堆積物を対象に、
0:31:28	歴史の分析を行っております。
0:31:31	改正と言われれば海がついた状態で体制下地層には、
0:31:35	BF4 地点と同じように同程度の
0:31:38	BF4 地点の露頭程度の請願火成岩が含まれておりまして、海がついてない大豆淡水域で堆積したとされる地層をここで言うと牧ノ原礫層がそれに該当しますが、
0:31:51	それには変成岩、火成岩が含まれないことを確認しております。
0:31:57	次 361 ページ、ここまで御説明した早々のまとめを上の方に書いております。
0:32:04	そこから考えないでその堆積環境というのは下の箱に示しております。
0:32:10	S波この内容になりますが、
0:32:13	まず上方細粒化が認められる。
0:32:16	いうことの角れきではなくてから扁平の利益が入っていると。
0:32:20	これらの特徴が横方向にも連続して確認できますので、
0:32:25	／土砂崩れ等によるについて堆積物ではないと考えております。それに加えておりなどの堆積構造止められておりません。会場細いですので、潮汐が波浪によるろ過で堆積したものではなくて、生成環境下でたまつたと。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:32:40	考えております。
0:32:42	それから規定的にはですね、電流が火口から海嶺によって運ばれてきたと考えられる変成岩、火成岩が含まれております。
0:32:51	さらにこれ後から御説明しますが、三中。それから南西部に伴う苦しいというところも、
0:33:00	ここにできておりますので、
0:33:02	du層は海水流入環境下で堆積したと考えて、
0:33:07	おります。
0:33:08	先ほどポイントとしてはですね静水環境だということと、海水流入環境化だという意見がポイントになります。
0:33:20	次 362 ページから試料分析結果を示しております。
0:33:27	363 ページ、資料採取箇所等の説明になりますが、先ほど御説明したようにですね。それと改めて詳細に見ておりますが、年代特定に結びつきそうな火山灰、
0:33:40	それから化石は認められておりません。またですね何とか顕微鏡レベルの分析で年代特定に繋がる傾向が得られないかということで検討を行っております。
0:33:51	資料採取にあたってはですね伝送がほぼ水平に同じ注が連続していることを確認しておりますので、
0:33:58	その圧があって、比較的化石保存環境がよいと考えられる連絡トレンチの北と南ここを重点的に調べております。
0:34:09	私のBF4 地点もともと畑でございまして、そうよく見えますと、
0:34:14	条文 20cmほど人生の植物館の進入が認められております。
0:34:21	これですね、現世種のお世話排除するために試料の分析、資料採取は、
0:34:26	常務される成長除いて行っております。
0:34:32	この最初にした資料を用いてですね火山灰花粉化石が殺しの分析をしております。
0:34:39	364 ページに、そう箇所の調査結果を示しております。
0:34:47	まず火山灰ですけども、まず粒子組成から確認しておりますが、田烏重鉍物というのはほとんど検出されておられません。
0:34:56	来設立良し成分からの給電特定っていうのは断念しております。
0:35:02	それから花粉ですけども、いずれの資料においても花粉ごく微量でございまして、堆積当時の気候復元できるだけの量というのは検出されませんでしたですねあの禁止される可搬としては、
0:35:14	もみがなどの針葉樹それから反応機などが確認されております。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:35:22	続いて微化石ですけれども、経営層有効中世界津南のについても確認しましたこれは出てきませんでしたが、30 だけを配りに検出されております。
0:35:34	最後ざくろ石ですが、漫画成分に富むざくろ石が含まれることをしています。
0:35:40	この放散中途ざくろ石について個別のスライドで次から説明しております。
0:35:47	366 ページ、まず、
0:35:50	絵本山地になります、
0:35:52	その化石があるかないかという観点では先ほどご説明したようなごくまれに出てくるという結果ですけれども、どういった主なのかというのを詳細に確認しております。
0:36:03	下の表で示すと、やっぱり数限られてはおりますけれども、いずれも写真のように壊れること中全体で残っておりまして、再堆積がなくて、堆積時の方でそちらに生息していた集だと考えております。
0:36:17	個体数が少なくても結果からですね堆積年代ですとか、詳細に新しい環境を論じることはなかなかできないんですけれども、放散中というの改正生物ですので、少なくともそう海水流入環境下で堆積したということがデータからいえると考えております。
0:36:36	続いてざくろ石ですけれども、次の 367 ページになります。
0:36:43	先ほど変成岩、火成岩が両側からカイダで運ばれてきたという考察を御説明しましたが、ほかにもこういったものはないかということで検討をやってます。
0:36:52	右十八番に文献の内容を示しております、
0:36:55	定量化で算出されるざくろ石というのは反省文に飛んでいて、マグネシウム成分に富んでいる閉まって対策をとる人は異なりますよという知見がございます。
0:37:06	弊社でもですね文献と同じ地点で試料採取して分析すると、この赤いプロットのところになります、
0:37:13	MK 乗りマーカーの割合の高い確率が検出されております。
0:37:18	このつけを参考にですね、そちらざくろ石の化学組成を調べた結果が右側、
0:37:23	になります、
0:37:25	BF1 の 0 層からもあわせ部につまざくろ石が提出されております。
0:37:31	これに加えて、これに関しましても停留側火口から
0:37:36	海流で運ばれてきた鉱物だと言いますので。
0:37:40	この結果からも実は海水流入環境下で堆積したと。
0:37:44	いると考えています。
0:37:49	次 368 ページは、
0:37:53	になります、以上の露頭調査による、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:37:58	早々観察結果と視力が設計結果のまとめになります。
0:38:05	直接的にだろろう特定できる指標というのは得られませんでした、会場も総理であったり、そこにも同じような特徴を持って連続しているという早々から考えますと平成環境下で堆積したと言って、
0:38:19	ベルギーに変成岩、火成岩が入っているホウ酸中がSされる。
0:38:25	今は成分に富むざくろ石も出てくると。
0:38:28	この3点からは改正流入環境下で堆積したと言えますので、
0:38:32	見えませんので想像正しい環境としては、青箱のところになりますけれども、海水が流入する。
0:38:39	生成環境だったと考えております。
0:38:43	一番下の緑の箱になりますが、ここで得られたデータをもってですね、ここからBF4 地点は海水が流入する衛生環境にあったほうがいつだという観点で、さらにですね、今回あのBF4 地点で通過分析結果、
0:38:58	出てますので、その分析結果がフリーアドレスの分析結果と同じなのか、この二つの観点でその堆積年代について検討をこっから行っていく。
0:39:08	いう流れになっております。
0:39:11	それらの続いている内容がですね 369 ページから
0:39:16	になります。
0:39:18	370 ページ、まずBF4 地点が改正が連携する生成環境にあったのはいつだという観点で、
0:39:26	PFS1000 億近傍の地形地質に基づく評価を行っております。
0:39:31	371 ページは検討の流れでございますが、流れとしてですね、まずは、ビー・エム・エル天国着物地形面がどの時代のものに対比されるのかというのを検討した上で、
0:39:43	法的にBF4 地点に改正層がたまるのはいつか。
0:39:47	ところを検討しております。
0:39:49	その中から生成環境になり得るのはいつかこういう絞り込みを行うことで事前に特定をしています。
0:39:58	372 ページ、まず点けメガ対比からですけども、以前から御説明しているようにですね、BF4 地点の東側多く近傍には標高 50m付近に規定面がありまして、
0:40:11	下盤側駄目図で言いますと経営すると。
0:40:14	ちょっと赤っぽいハッチングがかかっているところであります。
0:40:19	50m付近の地形面があって、さらにその東にはもう一段低い地形面で断面図で言うとOmと書いているところでこれはございます。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:40:29	さらにBF4 地点が北側のBF1 地点というところには、
0:40:34	これは 2 段の地形面より高いところにご異議の段丘堆積物の最下位層である ブレースがございます。
0:40:44	これらの調査結果と御前崎地域の段丘構成を踏まえると、BF4 地点の近傍の 二段の地形面というのは 50m 付近のものが欲しいのか定め 35m 付近の方が 御への
0:40:57	御前崎面に対比されます。
0:41:02	次 373 ページになりますが、
0:41:05	BF4 地点の層基底の標高というのは約 50m になりますが、づき地域は隆起 になりますので、過去にBF4 地点に改正層が堆積した時代がいつなのかと いうのが欲しいの地形面から検討しています。
0:41:21	b 発電近くの標高 50m のツケメガ笠名面、5c の物に対比されますので、
0:41:28	下位水準変動等で層基底の標高の関係から 5c の崩壊面距離後にDBAをす でに改正層が堆積することはない、
0:41:39	TMSLに解説が堆積終了時代というのは合意または押しの高海面値のみで あると考えられます。
0:41:48	その下に図で示しておりますが、たまたまですね、D層が分布する標高 50mと 同じぐらいの高さに誤信おつけ面が
0:41:57	ありますので、
0:41:58	その地形面が隆起するよう数が、この赤線になりますけれども、河川等改修じ ゃ変動の関係を見ていれば、BF4 地点が標高的に海に浸かっていた可能性 がある時代がわかって、
0:42:11	それではご審議の高海面期かオオイしかない。
0:42:15	いうものでございます。
0:42:17	このスライド右下の箱書きにですね記載しておりますがこのグラフの赤線の勾 配、
0:42:23	これは必修課の平均的な隆起速度になりますが、大体 1000 年当たりながら ずセンチぐらいのスピードになります。
0:42:31	詳細な検討内容は補足説明資料に書いておりますけれども、この地域の隆起 速度に関する知見とも整合したスピードと考えております。
0:42:42	374 ページ。
0:42:45	候補がですね 5c 囲いに絞られましたので、そのうち生成環境にあったのはど っちかという検討しております。
0:42:52	まず合意ですけれども、このBF1 地点に標高 60m 付近までクリアで層がたま ってますので、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:43:00	ご異議では高海面
0:43:02	オオイの高海面期の下位水準というのは、BF4 地点の現在の総評それもさらに上のほうにあった。
0:43:10	なのでBF野生の基盤面付近は長石波浪の影響を受けにくい生成環境であったと考えられます。
0:43:17	一方で御審議においては、すぐ隣に標高 50m付近に笠名礫層相当が段丘面を形成しておりますので、
0:43:26	他海面期越しの高海面期ではですね、BF4 地点の現在の標高付近に、
0:43:35	改正面がありますので、
0:43:39	潮汐それから波浪の 4 日にあります。生成環境ではなかったと考えられます。
0:43:45	ということで、乏しいのうち、BF4 地点は生成環境にあったじゃ合意だと。
0:43:51	考えられます。
0:43:53	375 ページがまとめになります。
0:43:57	僕近傍の地形から考えると、D層が堆積するような
0:44:01	海水が入ってくる環境それから流れが少ない静かな環境というのはオオイしかないということが絞り込めますので、
0:44:10	青箱の部分になりますが、BF4 地点のですが堆積するような環境にBF4 地点があった時代はMIS5eであると考えられます。
0:44:21	ここが一番下の箱書きになりますが、
0:44:25	ここまでの高さ方向、表で見るとどうだという検討を示しております。
0:44:31	ただ平面的に見てもですねちゃんとこの忙しいされることを確認しております。この後 2 ページに書いております。
0:44:40	376 ページ、まず合意の時代ですけれどもこれは以前のスライド。
0:44:45	以前からのスライドですが、
0:44:47	面的にもお付けで見てやると合意のオオイにはプレアデスの分布が確認できる地域と同じ堆積環境にあったと。
0:44:56	ということ。
0:44:57	それから次の 377 ページ、これ 5cになりますけれども、
0:45:02	BF4 地点近くの月を見てやると、当時の海岸線っていうのは現在の 5cの堆積物が確認できている緑のラインにあって、
0:45:11	BF4 地点、そこから以下が 100m奥歯に位置しておりますので、
0:45:17	改正の低層がたまる環境にはなかったと。
0:45:20	考えられます。こういったところからも妥当であるというところを確認しております。
0:45:28	続いて 378 ページになりますが触れ合い層との対比に基づく評価です。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:45:35	次の 379 ページに概要を示しておりますが、先ほど堆積環境ぶつけから合意だという御説明をしましたが、ここではですね、MIS5eの牧ノ原面、これは町民とする牧ノ原段丘堆積物の最下位層、
0:45:51	泥質堆積物である浦邊層とそうそうそれから試料分析結果の対比を行っております。
0:45:59	380 ページは対比地点ですがけれども、模式的な知見地点として比木 2 地点、それからBF4 地点に一番近い地点としてBF1 地点を選定しております。
0:46:13	なおですね一番下の箱書きにもありますが、
0:46:16	引き継げとBF1 地点の調査結果を補足説明資料のほうに示しております。
0:46:22	381 ページが位置関係になります。
0:46:27	次 382 ページ各地点はその基底面標高を見てると南に向かって緩やかに低下しておりまして、県示される内容とも調和的でございます。
0:46:40	BEA発令さですけれども、厚さが 1m程度ですので大変にあたってはですね、質点及びBF1 地点の我々その基底から上位 33m程度退避対象と
0:46:52	しております。
0:46:55	そこで大変中身の方入ってきまして、383 ページからまず早々の退避です。
0:47:02	384 ページ。
0:47:05	箱書きの下側の右の矢印からになりますが、
0:47:10	BF4 地点の相当BF1 線が触れ合いベースはともに会場も層理のシルト。
0:47:16	まだ年度
0:47:18	そうから成りますで操作は類似しております。一方で、均一性が振られそう砂シルト互層から成っておりまして、
0:47:25	BF4 地点の例相当早々異なっておりますが、
0:47:29	例えばこれはですねこれは相双地域により異なりますよと。
0:47:33	一方で近い距離であれば、簡単に追跡できるという知見とも合致する内容でございます。
0:47:41	次 385 ページ規程類の形状の比較です。以前せんでも球形度 0.7 程度でして、同様な傾向を示しております。
0:47:51	このスライド前回会合でBF1 地点だけ 3 ベースは少なくて少し分布傾向も異なるので、サンプル数をふやして検討するよう指摘いただいておりますが、
0:48:01	そもそも急傾斜の平均値のバラ
0:48:03	平均について見ますとばらつきの範囲内にございまして、3 点とも一致していると。
0:48:09	いうものです。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:48:10	今回サンプル数も他の2地点とBF1地点同程度までふやしまして計測を行っておりますが、同じような結果が得られることも確認しております。
0:48:20	次386ページ、歴史で見ると作戦どうだという点ですけども、賛成と類似しております1%程度変成岩、火成岩が入っているという点も共通です。
0:48:34	388ページからは、資料分析結果の対比になります。
0:48:39	389ページ、まず寡婦になりますけれども、BF1と引きに
0:48:46	こちら針葉樹ですとかあの事例対比ができております。
0:48:51	BF4地点の花粉が検出量としては非常に少なかったんですけども少ないながらもですね、赤枠で示しておりますように、
0:48:58	気にはBF1沢山出てきた花粉が入っているというところは確認しております。
0:49:04	次390ページ、画分微化石の結果です。
0:49:10	ごめんなさい、火山灰飛び化石の結果です。
0:49:14	まず火山灰に関してですが、引きモリモトL1もBF4と同じくですねほとんどからすりゃ重鉱物確認できておりません。
0:49:25	来設立し成分の分析というのは断念しております。
0:49:29	日化石に関してですが、BF4地点ではホウ酸中のみ御配りに確認しております。これは他の2点とも同じでございました。
0:49:39	そういう交通に関しては、2EF1では若干ですが検出されております。ただ、極端に異なるということではなくて、この箱書きの下側に点線で囲っておりますけれども、花粉も含め、BF4地点の化石が出にくい理由としてはですね。
0:49:54	表層付近の露頭から試料を採取しておりますので、それから起きやすい環境にあることが要因の一つであると考えております。
0:50:04	次391ページ、ざくろ石の分析結果になります。
0:50:09	この比木2BF1、どちらからもDF1000と同様に、
0:50:14	漫画成分に富むものが確認できていますので両側から
0:50:19	下であろうと私が入っているということを確認しております。
0:50:25	392ページ以降は前回からお示している分析結果になります。
0:50:31	392ページが流動密度、393ページが含有鉱物XRDの結果です。
0:50:37	394ページは、こっち時期、次の395が、
0:50:42	Code帯磁率になります。これはいずれも3点で類似することを確認しております。
0:50:48	396ページは試料分析結果による対比のまとめです。
0:50:52	著しく面積が異なる点はないと。
0:50:56	いうことの花粉ですとか化石の産出状況に仲裁はございますけれども、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:51:03	BAF命のでその体積環境特定するに当たり用いたホウ酸ちゅう化石それから漫画成分イトウざくろ石というのは2地点、それからBF1地点の古屋です。でも検出されております。
0:51:18	397 ページ裏外帯による堆積年代のまとめてございます。
0:51:24	そうそうによる対比からはBF1 地点とは、
0:51:28	BF4 類似しておりますが比木 2 地点とは異なっておりますただそれは文献も言われていることだと。
0:51:34	いうものです。
0:51:35	値引き形状利益は3点で同じであることを確認しています。
0:51:41	資料分析結果による対比ではですね著しく異なる視点はなくてホウ酸ちゅうざくろ石も共通してここにできている。
0:51:48	いうものです。
0:51:49	その実務としてはですね見えませんので送付やD層に対比されるというものでございます。
0:51:57	従来粒度とか密度こっち時期の類似性から資料分析に関してはですね麻痺していた内容も、
0:52:05	若いほう三中それからざくろ石。
0:52:08	そういった追加分析によって補強できたと。
0:52:12	いうものでございます。
0:52:16	次の 398 ページは堆積年代評価のまとめです。
0:52:21	①の近傍の釣銭基づく評価、②-F0 外帯に基づく評価双方から堆積年代は合意であると考えられますので、
0:52:32	BFませんのでその体積年代観すごい 12 から 13 万年前であると判断しております。
0:52:39	399 ページは、一連 19 断層の最新活動時期についてのまとめです。
0:52:45	断層でその体積年代から 19 断層は、
0:52:50	約 12 から 13 万年前以降活動していないものと判断しております。
0:52:56	この 4 ポツ 6 の部分がなくなりましたけれどもコメント 97 と No.9 社が踏まえて、以上のように修正を行っております。
0:53:06	本店におけるコメント回答、コメントの反映箇所は以上でございますが、最後の補足説明資料だけを使ってですね回答している内容もございまして、あと、
0:53:18	もう少しだけお時間いただきましてその部分を簡単に御説明させていただきます。
0:53:23	補足説明資料の

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:53:26	1 ページに本店と同じようなコメント一覧。
0:53:31	ございますが、92 番と 94 番、これが補足説明資料だけで回答している内容に 5 でございます。
0:53:39	まず 92 への回答ですけれども、13 ページ、補足説明資料の 13 ページをお願いします。
0:53:53	都心部の断層ですね地層混交タイト柱状図で書かれているものを
0:54:00	同性状の断層ではないという説明を前回会合でしてありましたけれども、
0:54:04	その一次データの柱状図の記載を変更するのであれば、ちゃんとスケッチなんかも示して考えを
0:54:12	説明しなさいという御指摘でした。
0:54:15	今回ですね従来やっていた写真を使った説明に加えて、例えば 18 ページ。
0:54:22	19 ページの中にもございますが、
0:54:25	数値を使って
0:54:28	これはどういうところを使って、どういうところを持っていたそう継続の性状の断層ではないと言っているのかということわかりやすく、
0:54:37	設定に説明させていただいております。
0:54:41	これ前回説明した資料に追加するような形で 7 記載とさせていただきました。
0:54:49	それからあわせてですね 27 ページからになります、
0:54:55	端的にはですね写真だとか、スケッチで説明させていただいておりますが、
0:55:02	CTで確認してもですね我々の評価が妥当だという、これも後追いで確認しておりますのでその内容を示しております。
0:55:10	28 ページをご覧くださいますと、
0:55:13	写真だとなかなか層理面資料上わかりづらいですけれども、
0:55:19	Cで見てもちゃんと層理面が整然と並んでいることを確認しているところといった様子を
0:55:24	すべて確認している内容をつけているというものでございます。
0:55:31	以上がコメントNo.92。
0:55:34	への回答です。
0:55:36	次 33 ページからになります、コメントNo.94。
0:55:42	への回答でございます。
0:55:44	コメント内容としてはですね、36H01 断層という断層がございましてこれは新製品を
0:55:52	ではですねH断層系と同じ地質学的場で形成されたという記載をしております。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:55:59	ね、前回会合で一番先が分布しないとする地域にこの断層が入っていることに対してその関係はどうなんだという御指摘をいただいております。
0:56:10	34 ページにサグチ 01 断層がどういったものかというのを御説明させて、
0:56:17	説明しております。
0:56:20	サグチ 01 断層、敷地の東 3.8km のところにございまして、逆さまかぶると考えられる泥岩層内の断層でございます。
0:56:31	出されたというのが現存しておりません。
0:56:34	相談そうですね性状から流動的な変形を生じるような未固結から半固結状態の地盤において形成されたと考えられまして工程において一次発送系と類似しております。
0:56:45	すかCですねこう断層が認められるのは、
0:56:49	この敷地のさわらせねばさらに会議の岩相の中にございまして混載関係を考慮すれば、
0:56:55	形成時に流動的な変形を生じるような未固結から半固結状態の時代というのは異なっておりますので、
0:57:03	室内断層系と形成時代としては異なるものと、
0:57:08	なおかつ両者連続する断層じゃないと考えております。
0:57:14	この辺を実質使って説明したのが 35 ページになります。これぐらい離れていて、地層としても年代が全く違うところにあるというものでございます。
0:57:26	次の 36 ページに、じゃあどういう位置付けでもともと載せていて、申請書に載せていて、現在の位置付けはどうなのかというところを御説明させていただいております。
0:57:38	上の箱書きになりますけれども、もともとですね第 3 系新第 3 系の断層であるというところ、それから、
0:57:48	東西方向の圧縮場の中で、南北方向の引っ張りできた断層だと。
0:57:52	いうところ。
0:57:54	あと、断層形成時に流動的な変形を生じるようなやわらかい地盤で形成されると。
0:58:01	そういった点から同じ地質学的場で形成されたと。
0:58:04	表現して、
0:58:06	おりますと、
0:58:08	当然この辺りのことがですね、断層の活動性評価に資する内容だと我々考えておりまして、その位置付けて申請書にも載せていたと。
0:58:18	いうものでございます。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:58:21	現在ですね一番先の活動性評価においては、この 36101 断層直接的には用いておりませんで、
0:58:29	一致な断層までの活動性というのは、地球断層の活動をもって活動性をもって評価をしておりますので、新生児とは少し使いが変わっています。
0:58:42	いうものでございます。この辺は経営を再度説明させていただきます。
0:58:47	以上がコメントNo.94 の回答になります。
0:58:52	以上はのコメント回答の内容になりますが、ちょっと時間をオーバーしてしまいましたが、資料の説明は以上になります。
0:59:03	規制庁ニシキですご説明ありがとうございます。それでは確認のほうを進めさせて確認を進めさせていただきます。
0:59:29	規制庁サグチですけれども、
0:59:32	まずちょっと全体を通して大きな枠組みとかアマノところだけをちょっと確認させていただきたいんですけど、今回はやっぱり前回の審査会合を踏まえて、いろいろデータ拡充を行っていただいて特に前値 8 断層についてはいろんな性状とか、
0:59:51	そういったデータも含めて、あと実際のちょっと分布も、
0:59:56	よくわかっていない部分もあったよねということでそういったところをデータ拡充をしていただいて、特にH8 断層については、ボーリング 1 本D1 でしたっけ、D 2 でしたっけ、2 行かな。
1:00:11	というの追加をしていただいて、ちゃんとその性状も含めて確認をされた後で、その結果、H断層の分布形態も含めてその性状とかがほかの今までの
1:00:26	示されているほかのH断層と非常に類似をしていてね、これは少なくとも同士の断層であって、活動性評価を行う上でも、一応重要ということも我々、ちょっと申し上げたと思いますけど。
1:00:42	そういった意味で、これが一体としてできて活動をして、
1:00:47	ものなんだという説明について、より説明性が上がりましたという説明だったかなと私は理解したんですけど、まずそこまでいって、そういう
1:01:04	ことでよろしいですよ。
1:01:08	はい、全力のモリモトでございます。田地に関してサグチさんのおっしゃる通りです。データ拡充できていった活動についても説明性が上がったというものでございます。
1:01:22	はい、サグチです。ありがとうございました。それで、ちょっと細かいかもしれないんですけど、77 ページのところ、調査を踏まえて分布とかですねこれ反射法とかも含めて考えて、
1:01:38	これって実はちょっとだけH8 棟 I 級もかな分布ってちょっと

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:01:45	変わってますよね。微妙に特に敷地の
1:01:51	東側っていうんですかね、このH8とかH9については分布がちょっと変わったという理解で
1:01:59	いいですか。
1:02:05	時文学のモリモトです。前回からの変更点としてはですね補足説明資料も、
1:02:12	4 ページに、どういったところが、
1:02:16	終わったんだということで、今回のものと、
1:02:19	前回示しお示していたものを載せて、
1:02:25	おります。澤邊さんおっしゃるように、少し線形は見直しておりますがその要因としてはですねここにも書いておりますけれども、
1:02:33	イタチ率 9 冒頭説明したように、反射の測線の解釈を踏まえて、補佐の。
1:02:41	東側までづらい解釈しなかったところまで解釈を加えたということと、
1:02:49	エンターキーに関してはですね、dBという今回当てたボーリング孔がありますので、その確認結果を踏まえて、少し見直しを行ったというものでございます。
1:03:03	サグチわかりましたありがとうございます。それで、そういったものも含めて、あと、
1:03:11	1、
1:03:12	9、
1:03:14	に対して関しては実際に活動性評価を行っているところでも採集してくださいデータを取得してくださいと言ってそれも拡充をされて来ているんですけど、
1:03:29	ちょっと来細かいことかもしれないんですけど、
1:03:34	まとめるにあたって、
1:03:36	最終的なデータ一覧表を載せていただいているんですけど。
1:03:41	何ページがいいのかな。
1:03:49	ちょっと思いますよね即すぐ出ていくこまいんですけど、この点線が建家の中でやったかは、例えば、例えばAと 259 ページ。
1:04:00	これ調査結果のまとめということで、
1:04:03	すみませんこれ細かいことなのかもしれないんですけど、当然先ほどその分布の
1:04:13	平面分布とか、断面、断面、断面の分布っていうのも変わったっていうのがあって、このまとめてみると実はこれ落差とか、断層間の距離、これも一応、前回からは変わっているっていう、そういう理解でよろしいです。
1:04:34	サグチです。ごめんなさい、特にそのH8 とえちきゅうあたりについて、
1:04:40	はい、モリモトです。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:04:44	その辺りも今回確認した内容をお願いをしておりますって変わっていますって、変わった箇所をですね補足説明資料の 12 ページ。
1:04:55	にございます。
1:05:01	ちょっとそれではビフォーアフターという形では、ごめんなさいえっと、
1:05:07	今回の内容赤字で前回まで示していた数字を
1:05:12	この黒字で示しておりますが、
1:05:14	今回ちゃんと確認しましたのでその内容でこれだけ変わっこれぐらい変わったというものです。
1:05:22	最後に 159 ページに測線がおっしゃったところ、
1:05:26	ビフォーアフターでは示してないんですけども、もう少し上流のほうで際は、こういう形でまとめさせていただきました。
1:05:35	サグチです。わかりましたありがとうございます。変わったということが変わったんですけど、結果的にその落差が落差とか断層間の距離が今まで御説明あったのと大きく変わるもんじゃなくて、これは変わったとしても、まあ、ほぼほぼ今の今まで御説明いただいた落差が、
1:05:53	大体これぐらいのもんなんですよとか、あと断層間の距離というのは、もう皆大体同じぐらいなんですよっていうことは、結果として変わっていないという理解で、そこはよろしいですよ。
1:06:06	はい。耐専応答おっしゃる通りです。
1:06:10	はい。昨日ありがとうございますそれでちょっと、あと大きいなってるのは 259 ページ、同じページの
1:06:17	細かいことがもししれないんですけど、帯磁率と硬度で国会BF4 地点でとったと思うんですけど、このH級のところですね、これで今のこの書かれている数字って。
1:06:31	どの値を使われているのかなというのをちょっと確認をさせてくださいよとしてこれD11 とか、
1:06:41	結果をそのまま載せているのかなという気がしたので、ちょっと確認させてください。
1:06:49	モリモトです。500 これまでD11 の結果がそのまま入っております。今回
1:06:57	BF4 の北トレンチちいのデータも追加しておりますので、そこはごめんなさい反映漏れでしたので、
1:07:05	そこ見直したいと思います。
1:07:09	はい。規制庁サービスなどで今回の結果も踏まえてここは更新しますよという、そういう方針でいるっていう理解でよろしいですよ。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:07:19	今までのデータ自体はそれほど大きく変わるものではございませんが、デジタル値としてちょっと変わってきますので、そこだけ正しい数字に反映させていただきます。
1:07:32	はい、サグチわかりましたじゃあその点は、よろしくお願いします。
1:07:37	あと、
1:07:40	ちょっと大きなところだけまず確認させていただくんですけど、H断層系っていうのはどれも同じ分布形態それから性状、それはデータからもきちんと確認ができていて、
1:07:57	なので、
1:07:59	一体として活動するようなものであって、なのでまだどれで評価をしてもいいんだよと。
1:08:07	いうところで、じゃあH9 断層の上載地層で、その年代かつ活動性の評価をしましょうと当然これまでそういう流れだったと思いますけれども、
1:08:20	今度じゃんBF4 地点の上載地層
1:08:27	についてもさらにデータ拡充をしたんですけども、思うようなというかこのなんですよ、年代値を、それだけで確定できるようなものはなかったと。
1:08:39	見つからなかったんですけども、ただしその防衝っていうんですかね。そういうものになるようなものは、例えばそのざくろ石とかですね、あと、
1:08:52	ホウ酸中でした。
1:08:54	そういうのも今回見つかって、それがあ程度
1:09:01	共通するようなもので特にその比木 2 地点とかそういう他の摩耗敷地みたいなところですよ、そういうものと、
1:09:12	整合的なデータとしても、ちょっとられているので、それを持って直接そのメンバー一応評価をすることはできないんですけども、いろいろ総合的に、あとその地形等、地形面との高さとの関係とかですね。
1:09:28	そういうのを総合的に判断すれば、
1:09:31	これはMIS5eの地層であって、なおかつ、古屋d層に相当するようなそうではないかと。
1:09:41	いうことを今回のデータから持ってもいえるんじゃないかということで、
1:09:46	今そういう御説明ということでよろしいですよ。
1:09:53	ちょっと注目なモリモトです。サグチさんがおっしゃる通りです。Tephraとかっていうところがよかったんですが、そういったものは、
1:10:01	なくてですね、
1:10:04	堆積環境の方からアプローチをかけても、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:10:07	そうですね比木2地点と、そういった分析結果、追加の分析結果を含めても同じものが確認できてますので、そういったものを総合的に判断してごいだという判断しております。
1:10:22	はいサグチです。ありがとうございました。ちなみに総合的総合的と私も参りますけど、ちょっと御社が
1:10:30	これは特に
1:10:35	確定的ではないかもしれないんですけど大きな根拠として、これこれですというのがあればちょっと教えていただきたいんですけどそれは、ごめんなさい。いろいろ
1:10:49	1断層系の性状分布性状、
1:10:53	含めて、あと上載地層の中で、
1:10:56	ていうのを、これは、
1:10:59	非常に有効的なものだって考えてるのは、一つじゃないかもしれないんですけど、結局それが総合的という判断になるかもしれないんですけど、これがあれば、
1:11:11	確実にそういうことはいえるでしょうというのがあればちょっと教えてください。
1:11:29	中部電力の加藤でございます。
1:11:32	ちょっとすみませんご質問の意図なんですけど、分布性状からというのは、我々以前から
1:11:40	正常なんか使って
1:11:43	やわらかい時代にできたものが古いからみたいなど行っただけですよ。そこに反射おいてという
1:11:50	これでよろしいですよ。はい、策定する思いません私の気球書き方もあまりよくなかったかもしれないんですけど、前からちょっとだから、それは確認をさせていただいてますけれども、
1:12:03	何か皆みんなおんなじような感じだからいいんです。
1:12:08	というロジックではなくて、ここがこう、同じだから、
1:12:14	同じものなんです。
1:12:16	という
1:12:18	ロジックの整理が今できているかどうか。
1:12:22	と思うんですね、今何か。
1:12:25	見ていくと例えば最後のほうでその根拠に用いたのはこれとこれとこれですみたいな形で開く赤枠で公表の中で困われているというのもあるんですけど、だから結局、
1:12:40	似ているからいいんじゃないかと、これとこれが同じだから、こういう

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:12:46	ロジックで、
1:12:50	考えるんですという今流れに本当にまた今回ちょっとんっているかなというこ とでちょっと確認をさせていただいたんですけど、なので、例えば文法の中 で、その以前ありましたよね。弓状になっている。
1:13:05	とか、同じような、当然感覚で
1:13:08	あるとか、
1:13:10	そういうのが重要であって、それが一緒だから、これは同じものなんです。
1:13:16	で、性状については、
1:13:19	いろいろ
1:13:21	ある中で、じゃあどれがこれだから同じなんですっていうそういう、
1:13:27	ロジックっていうかストーリーっていうんですかね、そこが本当にちゃんと今示 し切れているかなというところでちょっと確認をさせていただいてだから御社と しては、
1:13:37	これが重要なんですと、
1:13:39	例えば同じ活動というものを示す。
1:13:43	ということについては、それから、
1:13:45	活動時期ですね、年来
1:13:49	というものを
1:13:50	を示す上で、これが、
1:13:53	重要なんですこれ一緒ならのことが重要なんです。例えばその比木2 地点と か、他とか比べてですね。
1:14:00	当然その単体でBF4 地点だけで見たときに、その標高分布の標高とかそうい うのがありますけど、これがこうだからこうなんですというそこをちょっと教えて いただきたいという、そういう確認なんですけど、よろしいですかね。
1:14:20	以下のモードです。
1:14:22	このHICの活動性評価全体のロジックが基本というか流れるちょっと御説明さ せていただきますと、まだ取り入れ活動したの全部搬送が同じ時代に活動した んだというところは、
1:14:40	知らない突発的な厳冬微視的な検討というつう政府が出て、
1:14:44	説明させていただいておりますが、この二つはですね、
1:14:50	真っ黒に求められているかの違いでしてまずパラで、
1:14:55	評価しているというものです。268 ページなんか
1:15:03	お願いを書いています、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:15:06	これどちら側というのがちょっと支店は支店をどちらの視点から見ても、こういったことがいえる同じことがいえる同時に動いたということがいえるということを説明しております。
1:15:16	その前提で、
1:15:19	教師的な方法は何も変わっておりますと、
1:15:22	本当に 174 ページがそれに方法該当するのかなと。
1:15:28	思っておりますが、
1:15:33	左の上の箱の歩行でのポイントとしてまとめてありますので、分布形態に類似性でこの分布形態に大府分布形態と言ってるかっていうと、
1:15:43	層厚受給者すれば正断層だよという線数ですね、落差、
1:15:48	感覚。
1:15:51	ということと、あとちゃんと後方回転を全部止まっているというのはこれはこのポイントかなと。
1:15:59	いう情報だけあれば、もうすでにこの右の図で
1:16:04	実際の断面図を回転させたものを示しておりますけれども、同時で動かないと、今のような形態にはなり得ないということは明らかになりますので、ここが一つのポイントかなと。
1:16:19	でも
1:16:20	客観的な根拠としてですね、ごみの法律等にているだとか、今回のコメント回答として、
1:16:27	ナカタの堆積場の事例の高付け加えさせていただきましたけれどもまだの観察事実として、この辺のですね。
1:16:34	形態が携帯での行に書いているような内容ですけども、
1:16:40	それが全部の断層でも同じだということがポイントかなと思っております。
1:16:46	それから性状を支店会議室ミクロなほうに行きますと、
1:17:14	303 ページG
1:17:19	まとめておりますが、
1:17:23	やはりそのマクロで見て
1:17:30	一体だという御説明しましたがミクロにおいても同じような時期。
1:17:37	動いたんだというところはですね。
1:17:59	あとは 303 ページG、
1:18:04	何かに示しております。
1:18:07	これ再活動の運営が実際活動がスタートがあるのかなのかというのをまとめた資料に、
1:18:16	なります。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:18:17	表の中にはですね、文献だとか地形の調査結果も書いておりますが、
1:18:24	／露頭だとか微細構造を見てやったときにどうだというところが一つポイントかなと思っておりまして、
1:18:32	ここに書いているようにですね再活動だとか、
1:18:40	繰り返しの活動利益を持つ断層だとか、あと固まった以降ですね、この岩盤の固まっていこう大分ダンスみられる特徴というのは、1月に全くないというところはいればそれがなおかつ共通している。
1:18:52	いうところをもってですね。
1:18:55	当時だということを
1:18:58	確実によると考えております。これは
1:19:05	同時同時代というか、地球で代表させていいんだというロジックの町もかなと。
1:19:12	いうふうには
1:19:13	考えています。
1:19:16	最後の19の上載を止める上載層の堆積年代を決めるにあたってですけども今回いろんなチェッカーを
1:19:25	追加させていただきました。
1:19:30	もともとですね我々
1:19:33	標高50mという
1:19:38	隆起域においても50mという高いところにですね。
1:19:44	道路があるという時点で、それは
1:19:48	このついていると触れられそうだとこのところで御説明させていただいたんですけれども、それがと不十分だという御指摘をいただいたところもございまして、今回データ拡充を行いました。
1:20:04	それが御説明しましたように、また直接的にはなかなかわからない、直接的な証拠というのは、面談消火出てこないんですけども、改正だというところ。
1:20:14	づらい説明していただけて利益もそうですし、今回ざくろ石へホウ酸注というところが出てきました。
1:20:22	今、今のBF4地点の標高のところに改正のものは海からしか入れないものがあるというところが一つポイントかなと考えております。
1:20:32	それをもって、
1:20:35	それがあることによって、この時代としては十分古いアミノ12から13万年前のものだといえることはいえと。
1:20:45	考えております。総合的にいうところは変わりはないんですけども、その中で、
1:20:51	重要なポイントがどこかというところ、そういう点かなと考えております。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:20:59	はい、サグチです。
1:21:02	今御説明いただいたことから、結局その最後の 403 ページ 404 ページであるんですけども、実は御説明いただいたことは当然書いてある部分もありますし、書いてない部分も実はあるんですよ。で、この 403 ページと 404 ページって。
1:21:19	いっぱい書いてあるんですけど、やっぱり系
1:21:22	そのポイントはどれなのかといっぱい書かれているからこそ、見づらくなっている部分もあってですね、やっぱりちゃんとポイントはここなんだということを押さえてできれば本当は 403 ページで完結していただければ。
1:21:37	いいんですけど 403 ページだと、少なくとも、
1:21:41	記載が、
1:21:43	十分でない部分もありますし、余分な部分も出て 404 ページは、あくまでもこれ各調査結果として、
1:21:52	という何かまとめ
1:21:54	になっていて、403 ページのフローをなんかを補うような形で書かれているわけでもないのかなとか思ったり、ちょっとその
1:22:05	結局
1:22:07	最終的なその評価もまとめているのは 403 ページというのが、
1:22:13	結局、これをこの 1 ページだけ見れば一目瞭然だと。
1:22:17	いうわかる形ですねやっぱり示していただかないと、今のちょっと 403 ページでは特にその上載層のところは今回せっかくこうデータも拡充をされたところも含めてですね。
1:22:31	もうなんか
1:22:34	後期更新世以降の活動してないとかなんかそういう
1:22:38	ことしか書かれてなくて、ここだからこうなんだよという、
1:22:43	ことがですね、書かれていないのでそこはちゃんと書いていただいて、
1:22:48	ここで完結できるような位置目標前でこの 1 枚だけ見ればわかるんだという形にはしていただきたいんですけど。
1:22:56	そのあたり、
1:22:58	まずちょっとこここのポイントを押さえた形で今これ書かれてますっていうのをちょっと確認させてください。
1:23:07	中部電力アマンでございます。サービスもご指摘ゲート重々理解しております、前回、津波のヒアリングのときにもナイトウさんからご指摘いただいておるように、当社として、このH断層系の評価っていうのは 1 枚で、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:23:25	どういところが我々が重視してこういう評価をしてきたっていうのはしっかり分かるものが1枚ないと、確かにもし戻る403とか4って名前テクニカルにこれだけ現象懸命頑張っ汗かいて、
1:23:40	チェックしてきましたとはなっているものじゃ声を一般のステークホルダーの方見たって絶対わかりませんよねということを受領承知しておりますので、少し
1:23:53	H断層系に対して当社としてもこうだという気もあるわかりやすい資料を追加しようと思います。次回のヒアリングなどに整理して御説明させていただきたいと思います。
1:24:05	はい、規制庁サービス今回本当にちょっと繰り返しになりますけど、データも拡充されてですね説明書制性っていうか向上っていうのも、御社としてされてると思いますのでちゃんとやっぱりポイントを押さえてわかる形でっていうのは、よろしく願います。
1:24:26	ちょっとですね、大枠だけなんで細かいのは、これ以降でまた別の担当からいろいろ聞くとお思いますので、ちょっとよろしく願います。
1:24:35	承知しました。
1:24:40	規制庁ナイトウですけども、多くの話すとしてね。
1:24:47	結構時間かかっているんだけれどもそれって、前回会合で指摘されたということに対して追加調査をやって、
1:24:56	てどういう結果が得られたのか。
1:25:00	それを今までのやつと併せとこういう結論になるんですっていうことのはずなはずなんだけど。
1:25:09	今回どんな調査やれたんですか、それはまずどこにあります。
1:25:19	中国のモリモトです。
1:25:23	特にですね、PFI地点で層の堆積年代に関しては、
1:25:35	規制庁の伊藤ですけども、いや、すぐに出てこないとあそこに書いてありますここに書いてありますっていうことにしかならないってことだと思っただけど、まずは指摘を受けて指摘を回答するために、ここのとこるところについては追加調査を
1:25:52	やりました。
1:25:53	議をどういう調査をやってどういう期間をかけて、どういう調査をやってその結果としてどういうものが得られました。
1:26:03	ていうのをまず説明して欲しいんですけども、そういう資料構成になってないですよ。
1:26:10	ネガとですねと7ページになりますか、少しナイトウさんおっしゃった。
1:26:18	ものに対して情報量が足りないかもしれませんが、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:26:23	前回 4 月の会合からつか、それから修正した事項を表でまとめております。こういうことを
1:26:34	時報告でまとめているものに対して何をやったかというところで、
1:26:39	一番右の欄にですね、追加調査ということで、
1:26:43	その性状に関しては 18 の資料の最終のボーリングをやりましたし、
1:26:50	上載層に関しては、詳細な分析をやったという内容を
1:26:55	大枠としては、こちらに今記載させていただいております。
1:27:02	規制庁の伊藤ですけれども、これは結果として、資料にここを修正かけましたということになっているだけであって、何をやったのか、どの時点で何をやったのかという説明がなっていないんですよ。
1:27:15	それをまず説明していただきたいんですよ。資料として、
1:27:19	それがないと、じゃあボーリング調査があったのどの地点で何本を打ったんですかってのもよくわかんなくて、
1:27:27	結果としての一歩も出てきてるんだけど、一方執行部となかったんですかどうなんですかということすらわからない。
1:27:37	BF4 地点でどういう調査を全体としてやって、その結果としてどういうものが得られてられてないとこれは使えないから、十分データで下も含めて、
1:27:49	御社が
1:27:50	オミットしていない。
1:27:55	データのみが書いて入ってきていて、
1:27:58	全体としてどういう調査になってるかわからないんですよ。
1:28:04	悪い言い方をすると都合のいいデータを
1:28:08	都合の悪いデータを隠して都合のいいデータだけで組み直してきましたというふうにはしか見えないので、そこはきちんとどういう調査をやってす。
1:28:17	全体像がわかるような形でまず説明してもらえませんか。
1:28:22	あとモリモトです。な計算が模式的よくわかりました。というのはちょっとその調査結果が資料の中に、
1:28:29	ちりばめられているというような状況でございますので、
1:28:33	御所企業に 1 枚ものが 2 枚ものかぐらいでやった内容ですね感じでまとめさせていただきます。
1:28:45	規制庁ナイトウですけれども、1 枚 2 枚じゃなくて、ちゃんとどういう調査をやったのかがわかる全体像がわかるようなものをきちんと作ってください。
1:28:56	中部電力アマンでございます。それをどういう表されることはどういうことを得ようと思って、どういう調査をやってどういう結果が得られたと、それぞれも調査を行っては、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:29:06	それを踏まえると、全体としてはここを使えるということなのでそれは全体の構成の中にはめ込むとこういう形でもって評価ができると。
1:29:18	考えてそういう評価結果にしましたっていうのが御社の説明、市長のはずなんだけど。
1:29:26	中部電力としてデータを拡充した上で、それを既存のデータと組み合わせてど ういう論理構成でやったのかとその論理構成が変わったら変わってないのか。
1:29:38	結果が関わってる関わってないのか。
1:29:42	わかんないんですよ。
1:29:45	説明を聞いてても、ここにありますが、ここ見てください。
1:29:49	それ違うでしょ。
1:29:53	事務連絡アマンでございます。ナイトウさんのおっしゃることはよく理解いたし ておりますので、前回御指摘をいただいたことをどうあたし達としてとらえてど ういう調査を計画して実施した結果、
1:30:09	こういったものが出てきて、使えるものはこういうものでしたし、
1:30:14	得られなかったのはこういうデータが得られませんでしたという事実をまずしっ かりと整理した上で、その中で使えるものについて今回の資料の中にこのよう に織り込んできましたということがわかるような資料をしっかりとこしらえていき たいと思いますので、よろしく願いいたします。
1:30:50	規制庁のカイダです。
1:30:53	私のほうも今の話と、今サグチとナイトウの方からの話とちょっとかぶるような ところがあるんですけども、
1:31:05	BF4 地点の今回の評価の 334 ページですか。
1:31:11	ぐらいから
1:31:15	こういうふうになりますと、こういうふう理解しましたっていうのが、
1:31:19	書いてあって、
1:31:21	このページ以降ずっとこう見ていて、分析とか、いろいろ追加してっていうのが いろんなのをやったんの結果、
1:31:32	334 ページではちょっと増えてはいるんですけど。
1:31:37	結局、今回あれなんですね、改正そう。
1:31:41	なんだっていうところ、いろいろな
1:31:44	データを持って説明して、
1:31:48	改正層があの高さにあるっていう
1:31:51	ことを考えたら、
1:31:53	十二、三万年より

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:31:56	古いっていうか十二、三万年なんだったっていうところが大分前面に押し出されてきているような
1:32:03	読んでいって最後の辺になって単段築いていくんですけど。
1:32:08	ちょっと今のような認識でいろいろやってるけども、そこが結構押しだっているところよろしいですか。
1:32:21	中部電力の森本です。もともとですね地形を使ってBF1gなんか中心説明しておりましたが、
1:32:37	ごく近傍の地形を使って説明してたということが変わりはありませんが、今回の改正そうだとところがより強く入れるようになったことを受けて、その部分のウエイト
1:32:47	ちょっと説明として、
1:32:49	ウエイトが高くなってるということが事実です。
1:32:56	はい、いかがですか。
1:32:58	ちょっとその辺のところですね、334 とか
1:33:03	あと 371 とか 2 もちょっと増えてくれてあるんですけども、
1:33:11	ちょっとどういう構成で今後この地層の年代を決めていって言ったかっていうところと全体像みたいなやつが、
1:33:21	最初に内とそういう頭で読んでいけないっていうのがあって、
1:33:27	334 で触れてあることも、あと絡み返せばそういうことだったのかっていうところもあるので、
1:33:35	もう少しこう、なんて言いますけれども、全体像みたいな年代の、これは前回資料からの変更という形で書いてあるんですけど。
1:33:44	年代をどう決めたかみたいなことの方考え方みたいなやつをまず最初に、
1:33:51	前ともあんまり変わってないかもしれないんですけども、
1:33:56	今回もちょっと変わったところあるのであれば、そういうのも踏まえて何か。
1:34:01	わかるようなところを最初に触れておくのページを追加していただきたいんですけど。
1:34:07	それはよろしいですか。
1:34:23	中部電力イマイでございます。ご指摘の通り 334 ページですね、もともと今回の流れを右側に書いておりますけれども、
1:34:32	前回とのロジックというか説明との違いもまとめて一番にしておりますので
1:34:40	334 ページの右側ですね、今回の流れのところもう少し 1 枚、これだけうち毎日ですね、もう少し説明を補足するなどして全体像がわかるようにまとめたと思います。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:34:51	以上です。
1:34:54	はい、じゃあ、よろしくお願いします。
1:34:57	じゃちょっとそれ、今回の中身について確認させていただきたいんですが、
1:35:05	今のお話いただいて今日も出てきたんですね 373 ページ。
1:35:12	僕が言って 72、71 ページ以降で 373 ページで
1:35:19	隆起の曲線みたいなのは、
1:35:22	書いてあって、ここの高さを比較して、
1:35:27	改正層
1:35:28	改正そうかどうかっていうのもまたちょっと別途なんですけど、改正層の
1:35:34	このBF4 のとMIS5 とかMIS5cの高さの検討されている。
1:35:40	ところがここかなと思います。
1:35:46	ちょっと細かい話になるのかもしれないんですけど、
1:35:52	この赤い字で、
1:35:54	現在の笠名面相当標高等で、
1:35:59	治験形成時の下位水準から想定される。
1:36:04	BF4 のd層基底の標高の経年変化と、
1:36:09	いうの線が入って入ってます。
1:36:12	これ
1:36:14	線を見る限りは
1:36:18	笠名面の高さの洗顔かなと思って見ると、
1:36:25	基底面の話がここにも入ってて、
1:36:28	この前のページとこの後のページもちょっとここ基底面の高さの話と、面の高さの話が結構
1:36:36	もう明後日書いてあってこうわかりづらいんですけど。
1:36:40	まずこの赤い線はなんなには表されてるんですか、基底面なんですかそれとも面の高さなんでしょう。
1:36:49	モリモトです。グラフの赤い線はあくまで笠名面としての地形面、
1:36:56	もう高さが
1:36:58	笠名面堆積時から現在の 50mのところまでどうやって変化したかを
1:37:04	示しております。
1:37:06	ちょっと患者さんご指摘の基底面の話と、地表面の話ご支援の地形面と、そのところの地底面の話が
1:37:16	混在
1:37:17	続いて、わかりにくい。
1:37:21	ところがあったのかもしれませんが、たまたま 372 ページG、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:37:28	ご覧いただきますと、
1:37:31	DEFOR地点でここではないFRと書いてありますが、BD4A4 地点のそのD層の標高と、
1:37:41	笠名塩化炭素笠名面外だと言っている定置位置だとかDFみのところの標高がたまたま同じ標高にありますので、結果としてですね。
1:37:52	373 ページの赤線、
1:37:57	と改正順。
1:37:59	グラフの関係を見れば、そのBF4 地点が見つかってとか使ってなかったかわかると。
1:38:06	いうものでございます。
1:38:13	はい、カイダです。たまたま女同じ高さだっというのはちょっと
1:38:19	1000 前のページのところを見てもわかるんですけども、ちょっとこの線の示してる意味がちょっとそれだと結局ぼやけているちゃうので、
1:38:30	補足でだと 39 ページに、
1:38:33	面だけと比較したような図もあったりしてそっちのほうがむしろ、
1:38:38	わかりやすいというか、
1:38:41	うん。まず 5cの面のときの海水面がどのぐらい。
1:38:46	だったのかね、今だったらどのぐらいに想定されてるかっていうのは、
1:38:51	ところを御説明するんだったらこうあんまりコーンン結果として同じかもしれないですけども、まぜて書くと、なかなか
1:39:01	わかりづらいというところがあるのでそこはちょっと何か表現ぶりは、
1:39:05	ちょっと考えていただきたいなと思います。
1:39:09	例ということで、あとその 374 ページの上の断面のほうで、
1:39:17	60m以上ミス合意は 65m60m以上っていう
1:39:23	能もですね。
1:39:25	これ前面としての高さの下位水準の高さっていうと、
1:39:31	さっきの補足の 39 ページだと 100mぐらいって書いてあって、
1:39:38	100mぐらいっていうような図が出てますんで、60 とか 100 とかっていうのがまた
1:39:44	ちょっといろいろ数字が、
1:39:47	違うんですけども、これは、
1:39:50	100 とかじゃなくて 60 以上って書いてるのは何か意味があるんです。
1:40:01	モリモトです。
1:40:03	まず最初に、最初の御指摘いただいた内容で 373 ページの赤線のところはちょっと赤線の注釈で引っ張ってる

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:40:14	棒の先の記載がややこしいという指摘かと思って思いましたので、
1:40:19	その辺は記載を改めさせていただきます。
1:40:22	それから 374 ページの
1:40:28	標高の話ですよねと思う。
1:40:31	ここで 60m という数字を出しているのは、BF1 地点に、
1:40:37	ご異議の段丘堆積物であるの最下位層の触れ合いISOが 60m 程度のところまで分布しておりますので、
1:40:47	その標高から 60m、
1:40:50	浦邊層、
1:40:53	自由体積部の最下位層でして、本来であれば上に、
1:40:57	今日松原砂層牧ノ原礫層という地層がたまっておりますので、
1:41:02	当時の下位水準としてはこれ以上だったんだらうということで 6 以上 60m 以上という方が、
1:41:09	ております。
1:41:10	一方の補足説明資料の 100m 何かっていうところまた別の
1:41:15	あの地点の説明でして、1 点。
1:41:19	BF1、BF4 よりもさらに二、三キロ。
1:41:24	北側の地点になりますけれども、その時点で見えてやったときの隆起速度、
1:41:32	ごめんなさい。そんな時にその地点でも、
1:41:36	京松原砂層上限標高書いているというものですので、BF1 地点を菌地点相当まで地層が堆積したと仮定すると 100m ぐらいまでは、当時の下位水準はあったと。
1:41:53	考えられますけれども現時点で確認できているのは、これは伝送しか確認でき、
1:41:58	でないなので、文献で言われている運べる組織化を示されていないので、
1:42:06	6 そこにその標高 60 メートルに留めているというものでございます。
1:42:16	はい、わかりました。
1:42:19	あくまで下位水準だと 100m ぐらいだけど、ここのBF1 のところだけ見て書いた数字ということ。
1:42:29	感じですね。わかりました。
1:42:31	やはりその通りです。はい。
1:42:34	そうしますとですね、ちょっと今回のこの資料でいくと 5c の面が笠名面でこれが 50 というところ、これが結構重要になってきてて、この 1000 をきつ書いてある。
1:42:50	なんだと思うんですけれども、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:42:57	この 5c の面が STPT11BF2 っていうのが、
1:43:04	5c の面ですっていうのは何か。
1:43:08	根拠の資料っていうか、そういったのはこの資料上、
1:43:13	高さは書いてあるんですけども、どこどこか何か調査結果とかっていうのは、以前示されていたんでしょうか。ちょっとそこは今把握してるんで確認なんですけれども、
1:43:26	この各地点の調査状況として今の資料で載っているもので言いますと 377 ページが、
1:43:36	それに当たりまして体制物として礫層、
1:43:41	は確認できているという情報、
1:43:45	ここに写真で載せております。
1:43:49	個別にべきが、しっかり堆積していることは確認しております。
1:43:55	TPP に関しては
1:43:57	17 の資料で
1:44:01	利益の赤色風化だとか、そういったところからも御説明させていただいているかと思えますけれども今の資料では 377 ページがご支援の堆積物の確認状況になります。
1:44:15	はい、カイダです。
1:44:17	ちょっとその辺りもですねここは 5c の面なんだっていうところは礫層があるから、そうなんだったらかさがそうなんだっていうのも、あのまあわかるんですけども、
1:44:29	ちょっと文献とかも踏まえてですね、この辺りの段丘面っていうのがどっかに示されていると思うんですけども、今回、
1:44:38	この面の高さとか、下位水準の高さっていうのは大分、
1:44:42	重要っていうような位置付けになってきたんで、その辺りも、
1:44:47	繰り返しになるかもしれないんですけど。
1:44:52	何かいい一覧にまとめるとかなんか、
1:44:55	もう少しぱっと見て分かるような形でまとめていただきたいなと思います。
1:45:04	今 377 ページで 5c の海岸線、何でこんな質問したかといいますと 5c の海岸線っていうのが、
1:45:13	今ここで、
1:45:15	50 メートルぐらいのところにありますっていうのが出てきて、この
1:45:20	5、
1:45:25	どっか別のページで、
1:45:28	382 ページ。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:45:33	と過温見ると、
1:45:36	杉山ほか 1987 とかっていうのが出てきて、
1:45:42	傘の段丘っていうのが書いてありますんで笠名段丘がこの場所は笠名っていうところに近い
1:45:51	東原上期落ち笠名時当方のうち傘の辺りが一番
1:45:58	近いかなと思うんですけどそこで。
1:46:00	家海岸線とか段丘がいいの。
1:46:03	高さっていうのは、
1:46:05	七、八十ぐらいになっているようにも見えて、
1:46:09	その辺りとの整合性っていうか、
1:46:13	あたりも文献等の比較で本当にここが笠名っていうのが、
1:46:17	今、
1:46:19	BF2 とかSD、
1:46:21	幾らで 11 でした。
1:46:24	そういったところがちゃんと
1:46:27	5cの面、
1:46:28	だっていうふうに認定したっていう根拠文献とかと比較しても、
1:46:32	まあ整合してんだっていうところをちゃんと示していただきたい。
1:46:37	と思ってます。
1:46:39	ちなみにこの 382 と 377 のこの
1:46:43	海岸線と段丘絵画も同じもんだとすれば、
1:46:48	高さが大部分違うんですけれども、これは何か何か検討とかされているんですけどちょっとどっかもし記載とかあれば教えていただきたいんですが、
1:47:00	はい、モリモトです。戸籍だっけ。承知いたしましたご審議の堆積物だとすると ころ文献調査から、我々がやっと調査も含めてですね。
1:47:15	を少しまとめさせていただきます。
1:47:17	それから単協が高さが少し違うというところは
1:47:22	先ほど
1:47:26	皆さんからも御指摘があった隆起速度の話に関係してくるのかなと考えております。
1:47:32	補足説明資料の 37 ページからですね、
1:47:38	今の資料の位置付けとしては、
1:47:41	DEFOR線が隆起速度についてということで、
1:47:47	ということでまとめさせていただいておりますが、
1:47:50	その同じ資料の 38 ページ。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
発音者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:47:54	先ほどの文献で言われているような分岐速度に対して日不安近くで、
1:48:02	明日隆起速度っていうのは先ほどの本店の
1:48:07	373 ページ。
1:48:09	右下にも記載しておりますが、大体 70 銭攻め当たり 70cm ぐらいのスピード
1:48:15	になります。
1:48:16	意見するとですね
1:48:20	ああ、ごめんなさい。補足説明書の 38 ページに既往文献の隆起速度も書いて
1:48:27	数字だけ比較しているとちょっと遅いんじゃないかというふうに見えるんですけども、この平面的にその隆起速度の分布を示してやるとですね。
1:48:39	北側歩道エネルギー速度は速くて、南側ほど遅いと
1:48:44	ということが言っております。この辺りの現象はですね、除くのほうでもスギノ先生からも指摘があるような内容でございますので
1:48:55	先ほど患者さんおっしゃったような高さがちょっと違うんじゃないかというところは、
1:49:00	この辺の利息の値が
1:49:04	北ほど早くて南ほど遅いということが反映されているのかと思います。
1:49:08	ここをDtごめんなさいえっ乏しいの点け面を
1:49:15	8 件目はですね御審議と議決するにあたってこの辺の隆起速度の考え方みたいなところも、
1:49:20	重要な情報かと思っておりますので、その辺も含めて、
1:49:24	資料としてまとめさせていただきたいと思っております。
1:49:30	はいカイダです。先ほどの話と関係してくると思っておりますので、ちょっと文献とかも踏まえて、ちゃんとこちら辺の認定を説明を加えていただきたいと思います。
1:49:45	今の隆起速度の話も今の 38 ページのところも、
1:49:50	見ても、
1:49:53	80、80 重なって重なって書いてあるところ。
1:49:58	御一番今回のところに近いような
1:50:01	何も見えたりしてその辺もちょっと気になるので
1:50:05	漏らさないように説明をお願いしたいと思います。
1:50:09	それで文献の話っていうところでいくと、ちょっと
1:50:14	前回までは割とわかりやすい杉山 19
1:50:20	8 款前回だと 371 ページの
1:50:26	資料。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:50:29	4コマ漫画じゃないですけど、六戸まま5コマ漫画のような形でこの辺りの
1:50:35	内湾がどうできて、
1:50:38	どういうふうにか海が入り込んできて堆積していたという。
1:50:43	次は1988の文献があったんですけど、これ今回そっくりなくなっちゃったんですけど。
1:50:51	これはどっか別のところに移動したんですけど減っても、
1:50:56	何か理由があるのか。
1:50:59	確認したいんですけども、よろしいですか。
1:51:04	モリモトですね、今回ですね資料からは削除しておりますというのが
1:51:11	以前までですねこのづく食うのこっちへとりませんけど図面を使って同じ
1:51:23	ICT環境にBF1とBFのあるんだというところは、
1:51:27	前回の370。
1:51:30	イトウ使って、
1:51:32	御説明させて、
1:51:34	いただいておりますが、
1:51:37	これだと思ふところというBF1というような1km離れているのでというところを少し
1:51:45	にされてるのかなあというところもあって、
1:51:48	ここの
1:51:50	何ですかね、BF1と同じ堆積環境場という根拠をイマイ使ってたんですけど、そういう位置付けを
1:51:58	イワセのほうがいいのかなというので、今回の頭数でおります。
1:52:02	うんうんの形成史という観点では結構わかりやすい図面ではありますので、
1:52:09	ちょっとまた債権についての検討させていただきたいと考えております。
1:52:16	はいカイダです。ちょっとあの
1:52:20	その杉山ほか1988の図を見ると前回からもちょっと
1:52:28	気にはなってたんですけども、比木2とBF1とBF4っていうのが海固まり始めてる時期がなんか微妙に微妙にか、
1:52:38	ずれてたりして、
1:52:40	それと今回の説明っていうのは、すべてこう規定の部分っていうのは比木2BF1BF4っていうのは同時にたまり始めたという。
1:52:50	老人のもんですっていうのと、ちょっとこの説明が
1:52:55	違ってらんで、そのあたりも何か確認したいなと思ってたんですけど
1:53:00	資料自体がなくなってたんで、
1:53:03	その辺りもこの文献。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:53:06	文献自体がちょっと古いもんだし、何かデータとかが更新されればこの辺変わってくるのはわかると思うこともあるかもしれないんですけども、
1:53:17	群馬再掲するかどうかも含めて、そうであれば
1:53:21	この辺り、どういうふうに
1:53:24	文献等の違い等を説明するかっていうところも検討いただきたいので、よろしくお願いします。
1:53:34	はい金されてるというのは理解しましたので、ちょっと検討させていただきます。
1:53:49	規制庁タニです。
1:53:51	これ考え方をちょっと確認したいんですけど、今資料を見ると、静水環境っていう言葉が結構キーワードになってて、
1:54:01	これはこれこれどこまで論点になるのかっていうのを確認しておきたいんですけど、これが静水環境ではなかったら、
1:54:10	静水環境っていうのが説明できなかった。とにかく改正だけど静水っていう二つの条件がそろわなかったら、これは御Cになってしまうかもしれないというふうな考えで、資料整理されているんですか。
1:54:26	静水環境っていうのがどういう意味なのかっていうのをもう一度ちょっと教えてください。
1:54:34	もうモリモトです。資料で言いますと、370。
1:54:40	3 ページ。
1:54:42	なりますけれども、
1:54:46	時間がないので、簡潔に教えてくださいね生成環境じゃなければ、これを見すごいじゃない可能性があるのかなのか教えてください。
1:54:56	先生官庁のなければ欲しいとの差別化の説明するのは少し足りないかなと思っております、そういった観点で先生環境がどうだという時点での生成環境だと。
1:55:10	存在になると思うところだということで、コンテキストで追加して記載しております。
1:55:16	やはり考えわかりましたで静水環境というのは静水環境と考えられるっていうのがあれですよ各種試験とか、観察結果から出てきて静水環境と考えられるっていうのが、そのあとの大事な根拠になっているっていうことかと。
1:55:35	思いました。で、ちょっと1点だけ、
1:55:40	細かい話です。生成環境だったらどうしたの推移の中にできが結構まじってるっていう、その辺どう考えてるのかちょっと教えてください。
1:55:52	濱本です。そのように全くの

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:55:57	先生にやれば暦年で入ってこないと思うんですけども、その整理が上昇する過程の中で起き警備に関しては、マルチが入ってくるような
1:56:10	多少、ナガマツの関係があった。
1:56:13	あとは考えておりますのでその
1:56:16	ここで、
1:56:18	製造環境に移ったことで、その機器の期日としてもですね
1:56:24	繋がることなく、泥質たい赤字でもそういうふうになっていると考えています。
1:56:29	規制庁ともう1点だけちょっとさっきの言葉で引っかかって確認させて規定基底付近というのはどういうイメージで基底付近で使ってるんですか、この今のトレンチの中の何メートルかの地層の基底付近といってるのか。
1:56:44	この古屋で全体の全体の中でBF4で基底付近なんですよ。どっちのことを言ってますか。
1:56:52	今は41mの中での寄付金探さとの境界付近のことを言ってご説明しております。
1:57:01	はい、どうぞ。
1:57:03	とりあえず考えの事実確認をしてきました。
1:57:12	規制庁認識する同じ規定歴のところをちょっとお伺いしたいんですけども、ちょっと資料を見てちょっとよくわからなかったんで確認したいんですけども、この歴っていうものはマトリックスサポートですかそれともクラストサポート73条なんですけども、あとはインプリケーションがあるとかそういったところの情報はちょっとよくわからなかったんですけども、いかがですか。
1:57:33	わか分かる範囲で教えていただければ。
1:57:50	モリモトです。当時の流れを変えるとか、そういったものは、
1:57:56	確認できておりません。
1:57:59	。
1:58:00	既設ニシキわかりましたありがとうございます。
1:58:03	確認できてないと思うんですね、手続き続いちよと私のほうから幾つか確認させていただきたいんですけども、花粉分析のところで、までの基本でなかったっていう話なんんですけども、100、365ページどっかの紙でも来本目本か分だけなんですけど。
1:58:22	これはもう総本部のほうは全然わからなかったとかそういう感じなんでしょうか。
1:58:30	はい。にわたり専門家訪問を確認をしておりますのではなかったというものです。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:58:38	わかりました。ありがとうございます。あと引き続いて、同じくBF4のD層の堆積環境というところ辺で写真を幾つか出てるんですけどこれって、
1:58:51	まず、BF4が上載地層でのとこのS波上載地層であるところでのその断層の直上のところのクローズアップの写真がもうちょっと寄ったよれったものっていうのはないんでしょうか難しいんでしょうか。ちょっと何か非引きぎみで
1:59:09	コンタクトかよくわからんなと思ってるんですけど、そのあたりどうですか。
1:59:17	ありがとうございます。当直例えばおっしゃってる344ページ。
1:59:22	どっかその辺の写真でもちょっと
1:59:26	この拡大図345ページに載せておりますけれども、
1:59:31	これよりももっと拡大してという。
1:59:34	ことでしょう。
1:59:35	規制庁認識するこれでも送受つす。
1:59:38	両写真の幅が各電力でもじゅ
1:59:42	何十cmかというオーダーなんですよね。
1:59:46	要はその断層がその上に本当に言ってるのが入ってないのかがちょっとこの写真からとわかりづらいなというのがあって、ちょっと確認させていただいたところです。
1:59:58	資料としては今、これは一番拡大した図になりますので、もう少しわかりやすいというか拡大した図を載せられないか検討させていただきます。
2:00:08	規制庁ニシキです。すいません、検討いただければ確認の上でば助かります。お願いいたしますで引き続いて私のほうからは、
2:00:23	こっち時期の測定をされているというのがあって、これも一つ。
2:00:30	合意合意であるというところのサポートエビデンスにしているかと思うんですけども、394ページのところ辺りなんですけども、これって、
2:00:40	何といいますか、いくつか資料とられてはいるんですけどもこれってNRMの値なんですとかそれとも実機クリーニング指定の女性しか方予定している値なんでしょうか。
2:01:09	すみません、ちょっとこちらのほうの資料だけではそれがわからないようになってますので、ちょっとその辺を確認してその辺りもわかるようにちょっと記載させていただきます。
2:01:18	規制庁ニシキですが。そうですねFRSどう結局何を見ているのかがちょっとよくわからないなんていうのがあったのと、あと資料は何か部が一応試料採取位置でばくつと書かれてもいるんですけどもこれも
2:01:31	いわゆる層の水平方向に連続してとってあるのかそれとも上下方向もランダムとってるのかによって大分その見るべき。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:01:42	この数値の意味合いというのは変わってくるのでその辺りちょっとぞういったところはどうとってるのかっていうのも示していただいたほうがこの
2:01:50	こっち時期の報道を見るかっていう我々のこの確認としても約役立つ情報ですのでちょっとその辺り受記載を充実させていただければと思います。
2:02:01	以上です。
2:02:04	承知いたしましたちょっとここに
2:02:07	試料採取とかも記載しておりますけども
2:02:10	分析する段階でちょっとどういった形でしてるかもわかるような形で記載させていただきます。
2:02:20	あと、あともう1点私の方からお願いと確認したいんですけども、393 ページのところで、
2:02:30	含有鉱物とかが入っていたりするんですけども、何か直接、
2:02:37	ベース層から年代を図ろうという試みは、
2:02:42	さればっけれども難しかったのかそれともまだされてないのかっていうところ、例えば仮透析とか、
2:02:50	斜長石とか石油とか入ってるかと思うのでこういったものって段丘とかだとなんか年代測定に使ったりしたりすると思うんですけども、この辺りちょっとなかなか難しかったということなんでしょうか。
2:03:09	中部電力オオミナミです。カリ長石とかそういった分析手法あるっていうのはちょっと存じ上げておりますけれども、何せ口座の泥層になっておりましてその粒径自体は非常に細かいものになっております。そういった方ことも踏まえると、
2:03:25	なかなかちょっと今現状難しいかなと。そういった分析を実施するものの中ではやっぱりリセットをどう考えるかっていうところもあるかと思っておりますけれども、やっぱり泥層っていうのは手術で固まるものになってくるので。そういった意味での評価の難しさもあるのかなというところでやはり困難ではないかと。
2:03:44	これを考えてございます。
2:03:48	規制庁ニシキですが、考えはわかりましたありがとうございます。
2:03:58	カイダです。またちょっと1点だけ確認をさせてください。
2:04:05	最後の結論のところなんですけど 396 とか、
2:04:12	390、
2:04:19	7 ですか。
2:04:20	歴の形が似てるとカトウざくろ石とかで機種がとかっていう話も、
2:04:29	この辺は直接年代っていうよりは

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:04:34	もう裏付けるようなもんっていうか、年代をの要素あんまり含んではないんですけども、
2:04:41	この花粉なんですけど。
2:04:45	何かこの辺の表を見てみると、
2:04:47	花粉だけは割と
2:04:51	検出されないとかじゃなくて、
2:04:54	次にBFでは他 3 してて、
2:04:57	BF4 でも、
2:04:59	割と
2:05:00	同じような傾向な物が微量ながら
2:05:04	検出されましたと。で、
2:05:07	実際の分析結果も 60364 ったとか、
2:05:13	ですかね。
2:05:16	特に今回あったトレンチ連絡トレンチ南
2:05:21	南と北できたすごい
2:05:24	までてるとこ出てるっていう
2:05:27	南のほうは割とこうな少ないながらも、どっちかっていうと出ているような
2:05:34	感じもあるんですけど。
2:05:36	これは資料でいうと、20 グラム。
2:05:41	だから、
2:05:43	出てきましたと。
2:05:45	これって
2:05:48	たくさんやってももうこれしか
2:05:51	意味はないということで、これをたくさん或いはもうちょっと
2:05:55	いっぱい出てくる規定傾向が見えてくるんじゃないかなと思ってちょっと
2:06:00	それを覚えたりもするんですけども、
2:06:04	その辺はあんまり
2:06:06	やっぱ 20 っていうのはもう、これを規定量であんまり
2:06:10	これをふやしたら逆に変なこと結果になるとかそういうことなのか。
2:06:16	やっぱりこうやってもこれぐらいしか出ないのかっていう、いうのを確認したいんですけど割と同じようなものが出てきてるっていうのは、
2:06:27	花粉だけ花粉ぐらいなのでちょっと確認してみるんですけども、
2:06:33	ちょっと確認したいんですがいかがでしょう。
2:06:37	のものです。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:06:39	花粉についてはですね今回追加でやっぱ以前にですね 365 ページにももっと書いておりますが、従来もトライはしております、大体同じような出方た後、
2:06:54	引き取りますごく微量だというのが実際のところでございますので、今回の 364 ページに示しているような確認項目を入れたんで、それを了ふやせばこれの掛け算で増えてくるとは思いますけれども。
2:07:12	／程度待避するにあたってですねその母数が違うものに対してもあまり意味がないと考えておりますし、
2:07:19	今回比較的育つがあって、その状態がよさそうなところを選んで重点的にやった結果がこれもするので、
2:07:27	これ以上数をふやしてもあまり有意な方は大変にあたって留意する形になるのかなと。
2:07:34	いうふうに考えております。
2:07:38	はい金井さん。
2:07:40	退避するにはその母数が違うと
2:07:45	もうあまりよろしくないという、そういうことで
2:07:51	今回一般母数はしてるとこだという。
2:07:56	ことですか。
2:07:59	わかりましたの状況は確認できました。
2:08:04	はい。以上です。
2:08:13	規制庁タニですけど、関連して 396 ページで、比木 2 地点とBF4 地点でも、火山ガラス重鉍物ほとんど検出されないって書いてるんですけど、このなんか分析結果って今まで出ていま資料あるんですかねそして出てたんですですかね。例えばの 364 ページで、
2:08:31	ここのBF4 地点には火山からその交換医療
2:08:36	バブルウォールだとかサービスだとかそういうのをちゃんと整理されてるんですけどそういったのってほかの地点も、
2:08:44	資料ありますか。
2:08:47	はい、モリモトです。BEA卑近とですね、PFM結果は今回まとめてですね補足説明資料のほうに普通させていただきました。
2:08:59	本編資料のほうにも、ほかのページでそのあたり、勉強してたんですけどちょっと読みにくくて持ってございません。場所としてはですね補足説明資料の
2:09:08	40 ページからになります。
2:09:10	と比木 2 とBF4 減ったBF1 終わっちゃってですね、
2:09:16	今回追加でやったデータは確認できました。ありがとうございました。この辺を見たら発生ちゃんとありますね。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:09:22	はい、ありがとうございます。
2:10:52	規制庁ニシキです。さらに等のところ確認したかった点についてはお伝えした通りになります。それちょっと時間のほうへ過ぎてしまってますので、今日のヒアリングのほうはこれで終わりにしたいと思いますが、
2:11:07	ねえ。ヒアリングの中で少し何か言うことちゅAってということにもございますでしょうか。
2:11:15	中部電力アマンでございます。今日御確認いただきまして、やはり最初にナイトウ参加をし、
2:11:22	御指摘いただいたように、どういう調査をどう考えてやってごいものが取れたらどういうものが取れてないところなどしっかりもちよっともう1回再度わかりやすく整理した上で改めてヒアリングをお願いしたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。
2:11:40	規制庁ニシキです。それではそのようなことで進めていただければと思います。
2:11:47	それだけオオノヒアリングがこれで終わります。もう少し様でした。
2:11:51	ありがとうございました。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。